



スポーツ吹矢



題字：青柳 清

Contents

1面	准師範・師範認定	7面	段位・級位認定者
2面	第3回8点的大会詳報	8面	佐藤夫妻の心技練磨
3面	第3回8点的大会詳報	9面	全国大会告知
4面	冬の全国一斉記録会	10面	スポーツ吹矢発進・発信
5面	冬の全国一斉記録会	11面	地域支部紹介
6面	県総支部長・師範陣の決意	12面	スポーツ吹矢物語

◎一般社団法人 スポーツ吹矢振興協会 会報・第23号
◎頒価 100円(送料別)
【事務局】〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町7-9 京桜興産ビル2階
TEL: 03-6206-2673 FAX: 03-6206-2674
【E-mail】info@sports-fukuiya.jp
【URL】https://www.sports-fukuiya.jp
【発行所】一般社団法人 スポーツ吹矢振興協会
【発行人】青柳 芳英【編集・レイアウト】菅村 昭文

「もっと楽しく!!」「もっと自由に!!」2026年は馬力UP

東京都	「SFにりんそう支部」(土屋敏雄支部長) 「西日暮里あいぞめ支部」(小西正陸支部長)
神奈川県	「吹き矢 笑健支部」(二村春子支部長) 「レッツ玉川支部」(大屋澄夫支部長)
千葉県	「千葉若葉葵支部」(瀧澤功支部長)
茨城県	「結城えがわ支部」(石田宣久支部長) 「吹矢 神立息吹会支部」(酒井光夫支部長)
群馬県	「利根保健生協スポーツ吹き矢健康倶楽部昭和東支部」 (反町玲子支部長)
栃木県	「鹿沼愛好会支部」(大橋勇支部長)
宮城県	「塩釜小松崎吹矢サークル支部」(上野喜久支部長)
長野県	「安曇野ココクル支部」(松永広枝支部長) 「JA城下健康スポーツ吹矢支部」(桑原龍男支部長)
奈良県	「奈良香芝支部」(川上富士男支部長)

「SFにりんそう支部」の土屋支部長は指導力のある六段の公認指導員。「西日暮里あいぞめ支部」の小西支部長は「藍染の里」で親睦と健康増進に努めたい。

「吹き矢 笑健支部」の二村支部長は「心身の健康に良い基本動作をたくさんの人に広めたい」と。「レッツ玉川支部」は公認指導員3人を含む16人の伝統ある実

東京都は31支部、神奈川県・千葉県は全国一の41支部
茨城県は28支部、群馬県は33支部に
続伸。栃木県は15支部に急増
長野県は30支部に到達、奈良県は4支部へ

振興協会の地域支部数は前号会報の363支部から、さらに13支部増えて376支部に到達しました。また会員数も前号会報から186人増加して6546人となり、それぞれ急増を続けています。前号会報からの新規支部は左表の通りです。

地域支部数376支部、会員数6546人
400支部、会員7000人へカウントダウン!

躍動の午年を迎え、会員の皆様の後押しのおかげを持ちまして「一般社団法人スポーツ吹矢振興協会」の勢いは新年から全開です。振興協会創立7年目に入った今年、地域支部数は400支部、会員数は7000人に向けて早くもカウントダウンに入りました。昨年12月の「全国一斉記録会サード・シーズン(冬の記録会)」には冬季にもかかわらず1368人が参加しました。年初恒例の1月14日の「2026年新年のご挨拶・新春8点的スポーツ吹矢大会」は、なんと応募者がたった二日間で定員を超える大盛況。一方、年初には新たに3人の師範、11人の准師範が誕生、国民的スポーツ・生涯スポーツの目標に向けて指導者の模範となる師範陣も充実してきました。午年の今年、振興協会は会員の皆様と手を携え合って、スポーツ吹矢を「もっと楽しく!!」「もっと自由に!!」するために馬力をさらにUPさせます。

国民的スポーツへ、師範・准師範を大幅に増強

「奈良香芝支部」の川上支部長は五段の公認指導員。「身体的、精神的な健康の保持を目的に楽しい支部活動を行ってきたい」と。

「奈良香芝支部」の川上支部長は五段の公認指導員。「身体的、精神的な健康の保持を目的に楽しい支部活動を行ってきたい」と。

「鹿沼愛好会支部」の大橋支部長は四段。「コミュニケーションを大切にし健康で楽しい支部を作る」と宣言。

「塩釜小松崎吹矢サークル支部」は町内会の高齢者のサークル。上野支部長は「会員の交流と健康推進を目指したい」。

「安曇野ココクル支部」の松永支部長はスポーツ体験を通して高齢者、障がい者に活躍の場を提供する安曇野市登録の市民ボランティア「つむぐ広場ココクル」の代表。「JA城下健康スポーツ吹矢支部」は桑原支部長以下11人がJA信州うえだ上田西支所城下下で練習。

「結城えがわ支部」の石田支部長は優れた四段の公認指導員。「吹矢神立息吹会支部」の酒井支部長は「健康維持向上・技量向上を目標に日々元気に楽しく活動したい」。

「利根保健生協スポーツ吹き矢健康倶楽部昭和東支部」は3万人の組合員が支える利根保健生協の15番目の支部。反町支部長は「フレイブル予防と親睦を図りたい」。

「千葉若葉葵支部」の瀧澤支部長は六段の上級公認指導員。他団体の教室の講師を務め、「吹矢タイム」を導入した先駆者のお一人。「会員本位の協会の姿勢に感謝、気楽にスポーツ吹矢を楽しみたい」と。

「会員本位の協会の姿勢に感謝」瀧澤功支部長

高根俊夫六段は御逝去に伴い追贈

熊本大会・九州大会など九州地区のスポーツ吹矢普及に大きく貢献されました。

「一般社団法人スポーツ吹矢振興協会」は指導者の模範となる最高位の「師範」に、長野県の有賀西夫五段(上級公認指導員)、熊本県の合志明公六段(上級公認指導員)、島根県の高根俊夫六段(上級公認指導員)の准師範三人を新たに元且付で認定しました。

長野県・有賀西夫五段
熊本県・合志明公六段
島根県・高根俊夫六段



新年のご挨拶で高得点続出! 2・3面に掲載
「2026年新春8点的スポーツ吹矢大会」

「全国一斉記録会サード・シーズン(冬の記録会)」10mは茨城県の佐藤義明五段が2度目の日本一!!

また振興協会は、福島県の藤井宏英五段(上級公認指導員)「なこそ吹風」

認定証授与を前にご逝去されましたことから、ここに師範位を追贈させていただきます。

3人の准師範を新師範に認定

代表理事から会員の皆様へ
「後ろには誰もいない」そんな覚悟で会員様に奉仕する

新春のお慶びを申し上げます。
2021年12月1日、「一般社団法人スポーツ吹矢振興協会」は名称を変更した際、会員の皆様に以下の「五つのお約束」をしました。

- ① もっと楽しく!もっと自由に!
- ② 会員の皆様を第一に考える
- ③ 会員の皆様のご意見・ご提案を大切に
- ④ 費用の垣根を極力低くする
- ⑤ 「安心」「安全」な用具を継続的にご提供する

おかげ様で会員の皆様の後押しにより地域支部数は400支部に迫り会員様は間もなく7000人を超す勢いです。

振興協会本部事務局の旗印(指針)は「最終責任者たれ」

そこで午年の今年、私は振興協会本部事務局の一年の旗印(指針)を「最終責任者たれ」と決めました。「事務局員一人ひとりが最終責任者としての立場で主体的に責任を果たし会員様・愛好者の期待に応えてほしい」と考えたからです。振興協会は今年も「五つのお約束」を守ります。そして「国民的スポーツ」に向けて手綱を絞り皆様と一緒に勢いをさらに加速させます。



一般社団法人 スポーツ吹矢振興協会 青柳芳英代表理事

的スポーツ吹矢大会

県から80人が8点的で賀詞交換



田口貴事務局長の
ブログから **今日も吹矢日和**

2026年「新春8点的大会」は 二日間で定員一杯！

「新年のご挨拶＆新春8点的大会」は早々に参加申込み（定員80人）を締め切ることになりました。

昨年、一昨年は定員にさえ達しなかったのですが今回は申込み開始から1、2日でしょうか。さらに数十人の方にお見送りいただくことになりました。

様々なことが私たちの予測を良い方に上回ってきています。

(2025年12月15日)



「一喜一憂」の団体 戦も

本競技終了後には団体戦も行われ、競技レーンごとに3人1組で各5本吹き、その合計点を競いました。

「8点的は楽しい」

「スポーツ吹矢をもっと楽しく、もっと面白く」出来ないか。

そうして誕生させたのが「8点的」です。

8点的は「より中心、より内側」を目指すようになり腕前が上がります。点差がつきやすくなり点数計算は頭の体操にもなります。

何よりも「楽しい」「面白い」

新春の8点的大会は、これら立証する大会になっています。

振興協会普及部長
用具研究開発担当
堀井 達矢

競技は「8点的」で、段位・級位に関係なく全参加者が8mで男女混合、6ラウンドの合計点により順位を競いました。

埼玉県の下野和朗七段「フリーダム川口支部」、千葉県西川敏幸六段「流山市フジタカ支部」の両師範をはじめ強豪がズラリと並ぶ中で優勝したのは茨城県の佐藤義明五段「水戸葵支部」。

224点（満点240点）の高得点で新年最初の主催大会を制しました。

佐藤五段は、「日刊スポーツ杯スポーツ吹矢大会」（第4回・第5回）、「青柳清杯スポーツ吹矢大会」（第2回・第3回）、「千葉・茨城スポーツ吹矢大会in成田」、「第3回スポーツ吹矢茨城大会」そして2024年の「全国一斉記録会」（冬の記録会）を初の210点満点で制するなど



茨城県「水戸葵支部」の 佐藤義明五段・石毛和一二段・鶴田善明五段が表彰台独占!!

2026年のスタートとなる「新年のご挨拶＆第3回新春8点的スポーツ吹矢大会」（一般社団法人スポーツ吹矢振興協会 主催）が1月14日、東京都中央区立総合スポーツセンター・サブアリーナで開催されました。東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城、栃木、新潟の7都県から定員一杯の80人の男女アスリートが集結、新春初の大会を楽しみました。高得点が続出、どんな仲間が増えて勢いを増す振興協会の会員の實力も証明しました。

今を時めく「サムライ」です。

準優勝も同支部の石毛和一二段。得点は221点でした。

石毛三段は、「第5回日刊スポーツ杯スポーツ吹矢大会in流山」6m男女の部優勝、「第3回青柳清杯スポーツ吹矢大会」8m男女の部優勝として昨年の「全国一斉記録会」（秋の記録会）8mの部で優勝するなど急成長中です。

第3位もまた同支部支部長の鶴田善明五段。得点は220点。

鶴田五段も一昨年の「2024新春8点的スポーツ吹矢大会」10m男子優勝、「第1回青柳清杯スポーツ吹矢大会」10m男子優勝、「第1回スポーツ吹矢茨城大会」10m男子優勝、そして昨年の「全国一斉記録会」の春の記録会（210点満点）と秋の記録会の10mを連覇した実力者。上位3位までを独占した「水戸葵支部」は昨年9月の「第3回青柳清杯スポーツ吹矢大会」の10m男・女・8m・6mの4部門も制覇しており全国の地域支部の目標になりそうです。

この日、準師範に認定された佐藤・鶴田両五段は門出を飾りました。

果、鈴木佐多美六段「板橋区撫子支部」、高田弘美五段「OSC流山」、佐藤義明五段「水戸葵支部」チームが108点（満点120点）で優勝しました。

「優勝」は商品券、「準優勝」「第3位」には純米大吟醸「大成功」贈呈

表彰式では、優勝の佐藤五段には賞状と副賞の商品券、準優勝の石毛三段と第3位の鶴田五段には賞状と純米大吟醸「大成功」が贈られました。また4位から10位までの入賞者にも賞品が贈られました。さらに10位ごとの「飛び賞」も。



「特別賞」はビックサクセス新製品の「グラスファイバー1本筒685」

特別賞としてスポーツ吹矢用具の「ビックサクセス」から、筒の最重量モデルとして注目を集める新製品の「グラスファイバー1本筒685」が贈られました。



振興協会の堀井達矢普及部長と希望者の「じゃんけん大会」大会により東京都の坂本恵雄五段「北区中央クラブ支部」が見事、特別賞を手に入れました。

高得点続出！振興協会・会員の實力証明

「新年のご挨拶＆第3回新春「8点的」スポーツ吹矢大会」

新年のご挨拶＆第3回新春8点

「より内側へ」「より中心へ」7都



入賞者コメント



優勝 224点

佐藤 義明五段（准師範・公認指導員）
水戸葵支部（茨城県）

落ち着いて最後まで集中できた

8点的大会で初めて優勝できて、とてもうれしく思っています。最後まで落ち着いて集中できたことが良い結果につながりました。

これからも楽しみながら吹矢に取り組んでいきます。

準優勝 221点

石毛 和一三段
水戸葵支部（茨城県）

試合会場を模した事前練習が功奏す

7点的とは違う緊張があり、試合前半は筒先の揺れが激しかったが後半には緊張が解けて練習の成果を出せました。

試合会場を模した事前の練習が功を奏し準優勝できたと思います。

第3位 220点

鶴田 善明五段（准師範・上級公認指導員）
水戸葵支部（茨城県）

支部の皆の努力に感謝

「水戸葵支部」が上位3位を独占できたのはこの上ない喜びです。

練習の時から「いつの日か上位を占めたいね」と言っていたんですが、こんなに早く実現するとは思いませんでした。皆の努力には頭が下がります。

「40点のパーフェクト達成」
下野和朗師範に大歓声

各レーンの選手たちが一組になって行われた団体戦でついに8点的40点のパーフェクトが達成されました。

記録したのは振興協会ただ一人の七段である埼玉県の下野和朗師範「フリーダム川口支部」支部長。達成の瞬間には歓声と共に大きな拍手が送られました。

NHKの朝の看板番組「あさイチ」でスポーツ吹矢の指導をした下野師範は右腕の負傷でしばらく左手一本のプレーが続きましたが、ようやく回復「今年こそ八段に挑戦する」と力強く宣言。



栃木県「矢板中る支部」の大武支部長を
娘さんとお孫さんが応援

栃木県「矢板中る支部」の大武光子支部長（二段）を娘さんの佐々木恵さんとお孫さんの華さんのお二人が会場で応援、熱戦で盛り上がる会場を和ませました。

大武支部長の出場を知って会場の近くに住む恵さんと華さんが会社を休んで応援に駆けつけました。

大武支部長は昨年6月の「第1回スポーツ吹矢栃木県大会」と9月の「第3回青柳清杯スポーツ吹矢大会」の各マスターズ部門を連覇するなど目下、飛ぶ鳥を落とす勢い。

当日は朝暗いうちから矢板市を出発してきた大武支部長を恵さんと華さんは「スポーツ吹矢のおかげで元気でいられてとてもありがたい」と頼もしそうに見守っていました。



◀大武支部長（写真中央）の応援に駆け付けた娘さんの恵さん（左）とお孫さんの華さん（右）

雪の新潟から上京
目黒・横田両支部長が前泊参戦

雪の新潟県から東京都内に前泊して参加したのが目黒静夫五段（公認指導員）「えちご柏崎スポーツ吹矢支部」支部長と横田雅典六段（上級公認指導員）「柏崎スターマイン支部」支部長のお二人。

目黒五段は奥様の百合子さんと前日に上京、支部の8人の仲間を代表して参加しました。これまで新潟県から日刊スポーツ杯、青柳清杯にも参加した目黒さんは「今年こそ主催大会10位に入りたい」と大張り切りでした。

また横田六段は新潟の雪を心配して都内に前泊しました。「基本動作を理解すると結果が出る」という横田六段は振興協会二人目の七段に挑戦中。

目黒五段と横田六段のお二人は今年4月16日、富山市で開催される「第1回スポーツ吹矢北陸大会」にも出場します。

▶写真左より 目黒支部長、横田支部長



「年男」「年女」の7人に
チョコレートのプレゼント

会場ではこの日、千葉県の下川敏幸師範の奥様で准師範に認定された西川泉五段「流山市フジタカ支部」＝写真＝ら午年の7人の「年男」と「年女」にチョコレートがプレゼントされました。

7人は少し早いバレンタインデーの贈り物に大喜び、好きな色のリボンを胸につけ「干支にあやかって勢いをつけたい」と新年初の大会に意気込んでいました。



「支部の六段位を10人にしたい」
西川敏幸師範

この日新たに11人の准師範が任命され、千葉県「流山市フジタカ支部」（支部長＝西川敏幸師範）の准師範は総勢5人となりました。

この日も同支部と関係団体から大挙18人の選手が出場。西川師範は「今年は六段位を4人増やして10人にしたい」と新年の抱負を披露してくれました。

新しい准師範6人の認定式が執り行われました。

大会当日には新准師範に認定された6人の認定式も行われました。この日出席したのは茨城県「水戸葵支部」の鶴田善明五段（支部長・上級公認指導員）、佐藤義明五段（公認指導員）、佐藤芳江五段（公認指導員）の3人、同県「取手スカイ・フクロウ支部」の田村功六段（支部長・上級公認指導員）、千葉県「流山市フジタカ支部」の西川泉五段（上級公認指導員）、小室陽一五段（上級公認指導員）の2人。

6人には振興協会の青柳芳英代表理事から直接、認定証が手渡され、会場の大きな拍手で祝福されました。



1368人が練習場から交流

全国の仲間が集う記録会は腕試し・励み・唯一無二の大会

全国すべての支部、愛好者が練習場から参加できる振興協会の「全国一斉記録会サード・シーズン」（冬の記録会）は、147支部・9サークル・同好会から1368人の吹矢アスリートが参加、日頃の心技練磨の成果をぶつけ合いました。各種目とも上位には全国の名うての強豪がズラリ。全国の会員・愛好者がこぞって参加できる記録会は唯一無二の全国大会に成長しました。

10mは無敵！茨城県の佐藤義明五段が208点で再び頂点に立つ

競技はいつもの通り男女混合の10m（二段以上）・8m（初段～二段）・6m（無級含む1級以下）そして8mのマスターズ（段級位問わず75歳以上）の4部門で各6Rの得点を競い合いました。

10mを制したのは、茨城県の佐藤義明五段「水戸葵支部」。惜しくもパーフェクトは逃したものの、208点の今大会最高得点を記録し、堂々の優勝。

佐藤五段は2024年の「全国一斉記録会セカンド・シーズン」（冬の記録会）で初の210点満点を記録して優勝。以来二度目の日本で「2026新春8点的スポーツ吹矢大会」優勝に続き准師範認定に花を添えました。

準優勝から4位までは204点の同点。規定により準優勝は「第3回日刊スポーツ杯スポーツ吹矢大会」を制した神奈川県の高梨光正五段「新鶴見支部」、3位は前回「秋の記録会」優勝者の茨城県・鶴田善明五段「水戸葵支部」そして4位は2023年の「冬の記録会」を優勝した茨城県の藤田富代五段「潮来支部」と強豪が占めました。

「なでしこ」たちも奮戦

女性陣も奮戦しました。

鹿児島県の古川昌子三段「鹿屋中央西原支部」が202点で5位、「第1回青柳清杯スポーツ吹矢大会」女子10mを制した東京都の石橋満五段「東京月島支部」が198点で9位、それぞれベスト10入りを果たしました。

8mは茨城県の石毛和一二（現在は三段）が秋・冬連覇達成

8mの部は茨城県の石毛和一二段「水戸葵

支部」が204点で昨年9月の「秋の記録会」に続き連覇を達成しました。石毛三段は全員8mの「2026新春8点的スポーツ吹矢大会」でも準優勝に食い込み今後の活躍が注目されます。

6mは兵庫県の宇城恵一1級が見事リベンジ果たし優勝

6mは、兵庫県の宇城恵一1級「すもとアイアイ支部」と、埼玉県馬場俊行さん「騎西スポーツ吹矢倶楽部支部」がともに206点の最高得点で並びました。

規定により宇城1級が優勝、馬場さんが準優勝。宇城1級は、前回の「秋の記録会」での2位からリベンジでついに全国1位を奪取しました。

3位から5位までも204点の最高得点で並びました。こちらも規定により3位は宇城1級と同じ「すもとアイアイ支部」の坂井秀彰1級、4位も同支部の岩本むつ子1級、5位は佐賀県の細田盛二2級「唐津支部」でした。

レジェンドクラス「マスターズ部門」は千葉県の酒巻平六段が秋・冬連覇

レジェンドたちが顔を揃えた75歳以上のマスターズ部門。千葉県の酒巻平六段「流山市フジタカ支部」が前回の「秋の記録会」に続き見事、連覇を達成しました。

冬の記録会 各クラス優勝者

※記載の段位・級位は記録会時点のものです。

10mの部 優勝

佐藤 義明五段 准師範・公認指導員
水戸 葵支部（茨城県）

寒さの中でも集中して競技できた仲間と共にさらなる成長を目指す

「全国一斉記録会」優勝という結果を残すことができてありがたく思っています。寒さの中でも集中して競技できたことが良い記録につながりました。記録会は2度目の優勝ですが、これからも仲間と共に楽しみながら、さらなる成長を目指します。



8mの部 優勝

石毛 和一二段
水戸 葵支部（茨城県）

点数落ちるも運よく優勝できた次回はいよいよ10mクラスへ

前回よりも悪い点数でしたので優勝は無理だと思っていました。運良く優勝できたのは嬉しい限りです。次回からは10mクラスでの挑戦となるため良い成績を残せるように努力します。



6mの部 優勝

宇城 恵一1級
すもとアイアイ支部（兵庫県）

前回2位からついに優勝奪取初段昇格目標に精進する

前回の「秋の記録会」準優勝からついに1位を奪取！支部メンバーのレベルが高く、緊張感に包まれながら記録会に望んでいます。今後は初段への昇格を目標に精進します。



マスターズの部 優勝

酒巻 平六段 公認指導員
流山市フジタカ支部（千葉県）

大病乗り越えて記録会連覇10mでも日本一を目指す

前回の「秋の記録会」からの連覇。喜びを噛みしめています。大病を乗り越え、腹式呼吸や腕の筋力トレーニングを重ねた結果、体調も良くなってきました。10mでも日本一を目指し楽しみながら精進します。



記録会、楽しんでいます！！

昨年9月に吹矢に出会い、週に2回練習に通っています。まだ始めたばかりで記録会の上位に入るのは無理ですが、皆と参加できて楽しいです。緊張しますが、なにより今は生涯スポーツとして楽しんでいます。



山田 和子さん
矢板ながみね支部（栃木県）

10mの部

順位	県名	名前	支部名	1R	2R	3R	4R	5R	6R	合計
1	茨城県	佐藤 義明	水戸 葵支部	35	35	33	35	35	35	208
2	神奈川県	高梨 光正	新鶴見支部	35	31	33	35	35	35	204
3	茨城県	鶴田 善明	水戸 葵支部	31	35	35	35	35	33	204
4	茨城県	藤田 富代	潮来支部	35	33	35	35	33	33	204
5	鹿児島県	古川 昌子	鹿屋中央 西原支部	35	35	33	31	35	33	202
6	茨城県	田村 功	取手スカイ・フクロウ支部	31	35	33	35	31	35	200
7	東京都	山崎 英昭	東京月島支部	33	33	31	33	35	35	200
8	千葉県	広渡 栄一	東習吹矢会支部	33	33	35	31	33	35	200
9	東京都	石橋 満	東京月島支部	35	29	33	35	33	33	198
10	新潟県	横田 雅典	柏崎スターマイン支部	31	33	33	35	33	33	198
11	茨城県	佐藤 義徳	古河せせらぎ支部	33	33	31	35	33	33	198
12	千葉県	林 誠	流山市フジタカ支部	33	35	33	31	33	33	198
13	千葉県	西川 敏幸	流山市フジタカ支部	33	35	33	27	33	35	196
14	神奈川県	井口 友好	新鶴見支部	35	31	33	31	35	31	196
15	高知県	野村 千城	岩村支部	35	33	33	29	33	33	196
16	鹿児島県	山口 恵子	鹿屋中央支部	35	31	29	33	31	35	194
17	奈良県	村田 純一	奈良生駒支部	33	29	35	31	35	31	194
18	千葉県	篠田 利男	成田支部	31	31	35	35	33	29	194
19	長野県	平川 三知子	信州ききょう支部	27	33	33	33	33	35	194
20	茨城県	山中 順子	取手スカイ・フクロウ支部	31	33	33	31	31	35	194
21	栃木県	湯澤 正樹	矢板ながみね支部	31	33	33	31	33	33	194
22	埼玉県	林 真	南彩白岡（土日会）支部	35	31	31	31	35	29	192
23	新潟県	近藤 幸敏	柳都にいがた支部	31	33	31	29	33	35	192
24	長野県	田中 郁衣	長野大豆島支部	31	31	29	33	35	33	192
25	茨城県	山本 栄一	取手かわせみ支部	31	33	31	29	35	33	192

順位	県名	名前	支部名	1R	2R	3R	4R	5R	6R	合計
26	福島県	吉田 弘	スポーツ吹矢はらまち愛好会支部	31	35	25	31	33	35	190
27	長野県	北澤 紀子	信州ききょう支部	27	31	33	31	33	35	190
28	茨城県	土屋 秀行	取手スカイ・フクロウ支部	31	29	29	33	35	33	190
29	鹿児島県	永尾 敬子	鹿屋中央支部	33	35	27	31	31	33	190
30	奈良県	田伏 広充	奈良生駒支部	33	31	31	29	35	31	190
31	茨城県	薄井 喜一	水戸 葵支部	29	31	33	33	33	31	190
32	茨城県	門脇 敏夫	牛久かつぱの里（中央）支部	35	35	29	35	21	33	188
33	茨城県	田沼 敏子	古河せせらぎ支部	29	35	33	25	35	31	188
34	東京都	鷹野 久恵	北区中央クラブ支部	35	35	27	31	29	31	188
35	茨城県	石塚 博	土浦西支部	29	31	31	29	33	35	188
36	千葉県	伊藤 文隆	野田支部	31	31	31	29	31	35	188
37	茨城県	佐藤 芳江	水戸 葵支部	31	35	29	31	31	31	188
38	茨城県	大高 哲	日立なごみ支部	33	35	29	29	31	31	188
39	千葉県	小高 光二	流山市フジタカ支部	35	33	33	25	31	31	188
40	埼玉県	宇内 充	流山市フジタカ支部	33	29	29	33	31	33	188
40	東京都	小林 茂夫	東京月島支部	33	29	29	33	31	33	188
42	千葉県	藤村 マサ子	流山市フジタカ支部	33	31	31	29	31	33	188
43	茨城県	清水 美夫	取手かわせみ支部	31	31	31	33	33	29	188
44	長野県	井出 貴久	信州丸子支部	29	33	33	33	31	29	188
45	埼玉県	間々田 耕造	南彩白岡支部（土日会）（JFA 全国吹矢クラブ連合会）	31	33	31	33	31	29	188
46	千葉県	高中 弘美	NPO 法人 おおたかスポーツコミュニティ流山OSC 流山	29	35	27	29	35	31	186
47	茨城県	山口 富男	笠間中央支部	33	27	35	31	35	25	186
48	神奈川県	高橋 陽子	新鶴見支部	29	29	35	31	29	33	186
49	千葉県	杉原 良行	成田支部	31	33	35	31	25	31	186
50	千葉県	花井 勇太郎	千葉 若葉桐花支部	31	31	29	31	35	29	186

全国の順位がわかる記録会

8mの部

順位	県名	名前	支部名	1R	2R	3R	4R	5R	6R	合計
1	茨城県	石毛 和一	水戸 葵支部	35	33	35	35	31	35	204
2	愛知県	二村 彰彦	ほのくに豊橋支部	35	31	33	35	33	35	202
3	兵庫県	住井 京子	宝塚中山中楽坊吹矢支部	33	33	33	33	35	35	202
4	茨城県	石井 直人	土浦西支部	33	33	33	31	35	35	200
5	茨城県	石田 敏彦	霞ヶ浦山百合支部	31	31	33	35	35	33	198
6	福島県	渡部 仁子	スポーツ吹矢はらまち愛好会支部	33	33	33	31	33	35	198
7	埼玉県	吉田 孝	騎西スポーツ吹矢倶楽部支部	33	33	33	33	35	31	198
8	茨城県	埜 富治	霞ヶ浦山百合支部	33	33	33	33	33	33	198
9	宮城県	郡司 貞雄	宮城名取が丘カーナ支部	35	33	29	31	35	33	196
10	茨城県	久保田 善二郎	霞ヶ浦山百合支部	33	31	31	35	33	33	196
11	岐阜県	多賀 俊勝	岐阜・西濃広域支部	33	35	33	33	31	31	196
12	茨城県	天田 功	日立ながみ支部	33	33	31	33	33	33	196
13	岐阜県	石崎 栄子	岐阜・西濃広域支部	33	33	33	33	31	33	196
14	茨城県	黒田 治夫	霞ヶ浦山百合支部	31	31	31	35	35	31	194
15	茨城県	地主 興二	日立かねはた支部	35	31	31	31	33	33	194
16	長野県	中村 聡子	信州ききょう支部	31	33	31	33	33	33	194
17	栃木県	平山 祐子	矢板ながみ支部	33	31	33	31	33	33	194
18	福島県	鈴木 富子	いわき 35 支部	27	33	31	35	31	35	192
19	長野県	沢山 朱美	上田市 かわせん吹矢の会支部	31	35	31	33	35	27	192
20	千葉県	茂木 行雄	船橋サザンカ支部	27	33	31	33	35	33	192
21	山形県	渡部 幸子	山形やませみ支部	33	31	29	33	35	31	192
22	栃木県	人見 裕子	足利さいこう支部	31	31	31	35	33	31	192
23	茨城県	藤澤 アキ子	日立かねはた支部	33	33	31	31	35	29	192
24	岐阜県	小木 曾 博	チーム瑞浪支部	35	33	31	33	33	27	192
25	埼玉県	岩田 忠男	秩父支部	31	31	33	33	31	33	192

順位	県名	名前	支部名	1R	2R	3R	4R	5R	6R	合計
26	茨城県	吉田 寿治	水戸 葵支部	33	31	31	33	33	31	192
27	東京都	森川 千秋	北区中央クラブ支部	31	27	35	29	35	33	190
28	茨城県	中村 美佐子	古河せせらぎ支部	35	27	31	29	35	33	190
29	山形県	大滝 康博	チームしらたかプラス支部	35	35	25	31	31	33	190
30	熊本県	濱島 政広	熊本合志支部	27	31	35	33	33	31	190
31	長野県	大畑 好美	信州ききょう支部	31	27	33	33	33	33	190
32	埼玉県	杉田 義雄	騎西スポーツ吹矢倶楽部支部	29	33	31	33	31	33	190
33	神奈川県	白石 いくえ	横須賀ハマユウ支部	33	31	31	31	31	33	190
34	埼玉県	岸 敏男	大滝公民館スポーツ吹矢クラブ	33	29	33	33	29	33	190
35	岐阜県	上田 稔	チーム瑞浪支部	31	33	31	33	31	31	190
36	栃木県	大桶 冬樹	矢板ながみ支部	35	33	35	31	29	25	188
37	茨城県	松浦 芳治	霞ヶ浦山百合支部	29	29	31	31	33	35	188
38	埼玉県	加藤 喜久夫	秩父支部	31	33	27	31	31	35	188
39	茨城県	松本 洋子	潮来支部	31	31	35	29	29	33	188
40	岡山県	音川 圭代	岡山春迎支部	33	33	31	31	27	33	188
41	福島県	高玉 真理子	スポーツ吹矢はらまち愛好会支部	31	33	27	33	33	31	188
42	岐阜県	生田 邦雄	ひだ高山支部	33	33	29	33	33	27	188
43	鹿児島県	の場 愛子	鹿屋中央支部	33	31	29	27	31	35	186
44	山形県	本石 貞一郎	チーム平野支部	25	31	35	29	33	33	186
45	茨城県	浅見 勝晴	牛久かつぱの里（三日月）支部	33	31	25	35	31	31	186
46	福島県	渡邊 芳彦	いわき塩屋崎支部	31	31	35	31	31	27	186
47	京都府	岡崎 勝弥	高野吹矢クラブ支部	29	31	31	29	33	33	186
48	千葉県	小原 隆一	流山市フジタカ支部	29	33	29	31	31	33	186
49	千葉県	青柳 久美子	千葉 若葉桐花支部	33	31	33	27	29	33	186
50	茨城県	宇佐美 洋子	日立諏訪支部	33	31	27	31	33	31	186

6mの部

順位	県名	名前	支部名	1R	2R	3R	4R	5R	6R	合計
1	兵庫県	宇城 恵一	すもとアイアイ支部	33	33	35	35	35	35	206
2	埼玉県	馬場 俊行	騎西スポーツ吹矢倶楽部支部	35	35	33	33	35	35	206
3	兵庫県	坂井 秀彰	すもとアイアイ支部	35	35	33	31	35	35	204
4	兵庫県	岩本 むつ子	すもとアイアイ支部	31	35	35	35	33	35	204
5	佐賀県	細田 盛一	唐津支部	35	35	33	35	31	35	204
6	岐阜県	加藤 定雄	岐阜・西濃広域支部	35	33	33	31	35	35	202
7	兵庫県	橋本 馨	すもとアイアイ支部	35	33	35	31	33	35	202
8	埼玉県	諏訪 淳	騎西スポーツ吹矢倶楽部支部	35	35	33	31	33	35	202
9	岐阜県	小島 康	ぎふ・さかほぎ支部	35	33	31	35	31	35	200
10	埼玉県	清川 弘子	大滝公民館スポーツ吹矢クラブ	33	35	31	33	35	33	200
11	茨城県	馬場 裕子	土浦西支部	33	33	33	33	33	35	200
12	埼玉県	梅澤 稔	騎西スポーツ吹矢倶楽部支部	33	33	33	33	35	33	200
13	千葉県	木村 順子	市原アローズ支部	33	33	33	35	33	33	200
14	栃木県	阿久津 美咲	矢板ながみ支部	33	31	33	31	35	35	198
15	埼玉県	清川 しず	大滝公民館スポーツ吹矢クラブ	35	29	33	33	35	33	198
16	兵庫県	岩本 英治	すもとアイアイ支部	33	33	33	31	35	33	198
17	東京都	馬場 敏雄	北区中央クラブ支部	29	31	35	31	35	35	196
18	兵庫県	中原 秀美	すもとアイアイ支部	35	29	35	33	29	35	196
19	徳島県	佐藤 忠子	ポコ・ア・ポコ・吹矢あなん支部	35	29	31	33	33	35	196
20	埼玉県	鈴木 正夫	騎西スポーツ吹矢倶楽部支部	33	31	35	33	35	29	196
21	愛知県	中野 治美	ほのくに豊橋支部	35	35	31	33	33	29	196
22	福島県	吉田 秀男	いわきスカイブルー支部	31	31	33	33	33	35	196
23	長野県	中嶋 実	長野シナノキ支部	31	33	33	31	33	35	196
24	岐阜県	小野 美津子	ひだ高山支部	33	33	33	29	33	35	196
25	兵庫県	安倍 君子	すもとアイアイ支部	31	31	29	35	33	35	194

順位	県名	名前	支部名	1R	2R	3R	4R	5R	6R	合計
26	岐阜県	片桐 真知子	可児 下恵土 ONE 支部	27	33	35	31	33	35	194
27	熊本県	財津 洋子	熊本合志支部	31	33	29	33	33	35	194
28	岐阜県	久保田 洋子	岐阜・西濃広域支部	33	33	27	33	35	33	194
29	群馬県	佐藤 光一	嬌恋支部	35	33	31	31	31	33	194
30	京都府	北村 圭子	高野吹矢クラブ支部	33	35	33	33	27	33	194
31	福島県	箭内 千恵子	郡山中央支部	31	33	31	33	33	33	194
31	山形県	鈴木 伊勢雄	チーム平野支部	31	33	31	33	33	33	194
33	茨城県	中村 慎吾	取手セントラルクラブ支部	35	27	29	33	33	35	192
34	茨城県	宮本 幸子	土浦西支部	29	29	35	33	31	35	192
35	埼玉県	山中 栄	騎西スポーツ吹矢倶楽部支部	31	33	31	29	33	35	192
36	茨城県	鈴木 秋善	土浦西支部	33	29	33	31	31	35	192
37	東京都	大賀 智加子	北区中央クラブ支部	31	33	33	29	35	31	192
38	埼玉県	小杉 正司	秩父支部	35	29	31	33	33	31	192
39	神奈川県	須藤 則男	イーグル会海老名支部	31	35	33	29	33	31	192
40	千葉県	齋藤 育江	市原アローズ支部	35	31	33	29	33	31	192
41	岐阜県	尾崎 真奈美	可児ばら支部	27	33	33	33	33	33	192
42	福島県	大竹 要三	郡山中央支部	31	25	29	35	35	35	190
43	茨城県	坂井 ゆみ子	水戸 葵支部	31	29	35	35	35	25	190
44	茨城県	斎藤 正和	取手かわせみ支部	31	29	27	33	35	35	190
45	広島県	藤井 知昭	チーム・パル五日市支部	31	27	33	35	29	35	190
46	京都府	伊藤 忍	高野吹矢クラブ支部	35	33	25	33	29	35	190
47	茨城県	津志田 光子	古河せせらぎ支部	33	29	29	31	33	35	190
48	佐賀県	細田 美智子	唐津支部支部	29	31	29	33	35	33	190
49	東京都	石田 喜久夫	ペアー新百合ヶ丘支部	31	33	35	29	29	33	190
50	岐阜県	溝端 寛	ひだ高山支部	35	33	33	31	31	27	190

マスターズの部

順位	県名	名前	支部名	1R	2R	3R	4R	5R	6R	合計
1	千葉県	酒巻 平	流山市フジタカ支部	31	35	35	35	35	35	206
2	茨城県	天谷 泰幸	土浦西支部	31	35	35	31	35	35	202
3	東京都	小池 達哉	文京音羽支部	31	33	33	35	35	35	202
4	兵庫県	春木 正己	おのころ健康吹き矢支部	35	33	33	33	33	35	202
5	茨城県	永盛 恵	水戸双葉台支部	33	33	33	35	35	33	202
6	兵庫県	藤里 晃	おのころ健康吹き矢支部	35	35	35	29	31	35	200
7	山梨県	高野 晴弘	甲府ひまわり支部	31	35	33	33	33	35	200
8	香川県	廣岡 和三	丸亀飯野吹矢クラブ支部	33	35	31	35	35	33	200
9	茨城県	鈴木 津紀子	取手かわせみ支部	33	33	33	35	33	33	200
10	神奈川県	渡辺 孝	六浦悠々会支部	35	31	31	35	31	35	198
11	千葉県	朝岡 正昭	スポーツ吹矢西部西船支部	33	29	33	33	35	35	198
12	岐阜県	松岡 利治	岐阜・西濃広域支部	33	33	35	31	31	35	198
13	茨城県	大竹 浩	取手かわせみ支部	31	31	33	35	35	33	198
14	茨城県	澤田 和之	日立諏訪支部	35	33	35	33	29	33	198
15	埼玉県	小用 五郎	スポーツ吹矢八潮花桃支部	33	35	31	33	35	31	198
16	福島県	佐藤 幸信	スポーツ吹矢はらまち愛好会支部	33	31	33	33	33	35	198
17	熊本県	合志 明公	熊本合志支部	33	33	31	33	35	33	198
18	茨城県	百々塚 光征	日立諏訪支部	35	33	31	33	33	33	198
19	茨城県	八巻 清春	取手かわせみ支部	31	33	33	35	31	33	196
20	神奈川県	橋口 茂生	横須賀ハマユウ支部	33	33	31	33	35	31	196
21	茨城県	小沼 忠男	取手かわせみ支部	33	33	33	31	33	33	196
22	長野県	吉田 徳治	大豆島上区はつらつ倶楽部 スポーツ吹矢の会支部	31	27	31	35	35	35	194
23	宮城県	西條 勇	愛島ドリーム支部	35	33	35	29	31	31	194
24	兵庫県	殿水 幸雄	宝塚中山中楽坊吹矢支部	35	33	31	31	33	35	194
25	千葉県	廣 紀治	千葉 若葉桐花支部	35	31	33	33	29	33	194

順位	県名	名前	支部名	1R	2R	3R	4R	5R	6R	合計
26	千葉県	加藤 勇助	八街スポーツ吹矢・大東支部	33	33	31	31	35	31	194
27	千葉県	高守 竹次	流山市フジタカ支部	31	33	31	33	33	33	194
28	栃木県	斎藤 幸男	矢板ながみね支部	31	33	33	31	33	33	194
29	宮城県	小笠原 透	宮城名取が丘カーナ支部	31	33	33	33	31	33	194
30	茨城県	大日方 克人	内原カタクリ支部	35	31	29	31	31	35	192
31	茨城県	白石 栄子	水戸双葉台支部	27	33	35	35	29	33	192
32	群馬県	石井 靖夫	群馬大泉住吉元気会支部	29	31	31	33	33	35	192
33	熊本県	緒方 正利	熊本花園よかばい支部	33	35	29	33	29	33	192
34	兵庫県	梅原 隆之	おのころ健康吹き矢支部	31	31	31	35	33	31	192
35	東京都	坂本 恵雄	北区中央クラブ支部	33	31	29	35	33	31	192
36	鹿児島県	上甫木 美智子	鹿屋中央支部	33	33	35	31	31	29	192
37	茨城県	高橋 政男	取手かわせみ支部	31	31	33	31	33	33	192
38	香川県	浜家 英男	丸亀飯野吹矢クラブ支部	33	33	33	29	31	33	192
39	東京都	米山 隆司	梅田吹矢会支部	33	33	25	35	31	33	190
40	東京都	八木沢 完治	荒川スポーツ吹矢支部	33	31	29	31	33	33	190
41	茨城県	菊池 悦夫	内原カタクリ支部	33	33	29	29	33	33	190
42	岐阜県	半坂 正幸	ぎふ中津川支部	29	33	33	31	33	31	190
43	岐阜県	今井 孜朗	チーム小田支部	27	31	31	31	35	33	188
44	東京都	西田 京子	北区中央クラブ支部	27	31	35	31	33	31	188
45	栃木県	大武 光子	矢板中る支部	35	31	31	27	33	31	188
46	福島県	野村 勝雄	スポーツ吹矢はらまち愛好会支部	33	25	31	33	33	33	188
47	埼玉県	松尾 有祐	スポーツ吹矢ニューイーグル支部	31	33	31	31	29	33	188
48	鹿児島県	山下 洋子	鹿屋中央支部	33	33	31	29	29	33	188
49	福島県	鶴 昭榮	なこそ吹風支部	33	31	27	33	33	31	188
50	東京都	木村 裕	荒川スポーツ吹矢支部	29	29	31	29	33	35	186

師範陣から2026年の決意・目標・仲間の皆様へ

**創始者と日野原重明先生の功績を生成AIで再認識
心技錬磨の追求で意義ある人生に**

新春に際し、スポーツ吹矢について生成AIの「Gemini」に聞いてみました。創始者の青柳会長が「スポーツ吹矢健康法」を提唱し、基本動作の策定、用具の開発、普及に並々ならぬ情熱を注がれ、そして医学博士である日野原重明先生が腹式呼吸の健康効果に着目し、普及に尽力された功績を再認識しました。

生活習慣の改善に努め、スポーツ吹矢を通して「心技錬磨」に取り組んでいきたいと思っています。

國井良幾 師範

山形県総支部長
やまがた21翡翠支部長・山形やませみ支部長



**スポーツ吹矢は心から楽しめる生涯スポーツ
仲間との結束深め吹矢の魅力を地域に広く伝える**

創始者の言葉「楽しくなければ吹矢じゃない」をモットーに、今年も「もっと楽しく！もっと自由に！」を合言葉に活動してまいります。スポーツ吹矢は、健康づくりだけでなく、心から楽しめる生涯スポーツです。鹿屋中央支部の上村木勇准師範と力を合わせ、仲間との結束を深めながら、吹矢の魅力を地域に広く伝える普及活動に取り組んでいきます。支部員同士が切磋琢磨し、笑顔で共に成長できる環境づくりを目指し、前向きに歩み続けます。

高崎 信正 准師範

鹿児島県総支部長
南大隅根占支部長



**これまで以上の普及活動で振興協会を「勝ち馬」にする
「我が人生、吹矢がありて幸福なり！」**

仏教用語に、笑顔を捧げることで幸せを分かち合う「顔施（がんせ）」という教えがあります。創始者の「楽しくなければ吹矢じゃない」という金言は、まさに「笑う門には福来る」に通じ、私たちが幸福にしてくれるものです。本年も楽しい吹矢を通じて健康を保ち、笑顔の絶えない一年にしたいと考えております。午年は飛躍の年。これまで以上の普及活動を展開し、振興協会をさらなる高みへと導く「勝ち馬」にしていきたいと思います。

「我が人生、吹矢がありて幸福なり！」

西川 敏幸 師範

流山市フジタ力支部長（千葉県）



**定期的な教室開催で草の根から競技人口増加を目指す
デジタル発信・現場の交流両輪に吹矢の発展に努める**

今年も師範として視野を広げ、若年層への普及や主婦層向けの親子体験会など、新たな層へのアプローチに注力します。定期的な教室開催を通じて、草の根からの競技人口増加を目指す決意です。

また、メディアの影響力の大きさを実感した経験から、今後もYouTube等で指導者や愛好家向けの動画発信を継続します。同時に全国各地での対面指導も重視し、地方大会への参加を通じて、愛好家同士の交流の輪を広げていきたいと考えています。デジタルの発信と現場での交流を両輪に、吹矢の更なる発展に邁進いたします。

下野 和朗 師範

フリーダム川口支部長（埼玉県）



スポーツ吹矢は「人生の道場」健康にも最適な競技

**「丹田呼吸法」習得と吹くタイミングの集中強化に注力
年2回の地区大会開催目標に充実した活動展開**

昨年の九州大会遠征を経て、改めて健康的な体作りの大切さを実感いたしました。本年は、特に高齢の方へ向けた「丹田呼吸法」の習得と、吹くタイミングの集中強化に注力して参ります。年2回の地区大会開催を目標に、会員の皆様と互いに高め合いながら、充実した活動を展開していく所存です。

上村木 勇 准師範

鹿屋中央支部長（鹿児島県）



**愛用5本の矢「誠実・信頼・先進性・技術・健康」と名付ける
今年も強い信念で一人ひとりの育成に真摯に取り組む**

継続的な普及と丁寧な指導に努める一年とします。愛用する5本の矢には「誠実・信頼・先進性・技術・健康」と名付け、1gに満たない矢の重みを心に刻んで接してきました。吹矢を受する皆様の笑顔と上達を願い、その面白さを分かち合いたい。今年も強い信念を持ち、一人ひとりの育成に真摯に取り組んでまいります。

林 誠 准師範

流山市フジタ力支部（千葉県）



**スポーツ吹矢の土台は精神を調える呼吸法と基本動作
今年一度、根幹の基本動作の見直しと共に成長する**

午年の今年は、秋までに会員の皆様に三段位を受験していただき、更なる高みを目指していただく決意です。その土台となるのが、精神を整える呼吸法と基本動作です。動作の意味を一年かけて丁寧に伝え、曖昧さを解消してまいります。スポーツ吹矢の根幹である基本動作を今年一度見直し、共に成長せねばなりません！

小高 哲夫 准師範

千葉県



**公民館講座として「スポーツ吹矢教室」実現させたい
「必ずや会員増」今年も実現したい！**

現在、いわき市内には少人数で発足した支部があり、今後は会員を増やし更なる活性化を図ることが目標です。まずは公民館長のご理解を仰ぎ、公民館講座として「スポーツ吹矢教室」を実現させたいと考えています。秋には体験教室を実現し、必ずや会員増に繋がってまいります。

新任

藤井 宏英 准師範

なご吹風支部長（福島県）



**馬のように安定した姿勢を集中力・呼吸・残心磨く
スポーツ吹矢のご縁大切に心身とも実りある一年にしたい**

准師範の任命をいただき、継続の重みを実感しております。午年にちなみ、馬のように安定した姿勢を保ち、集中力と呼吸、そして課題である「残心」を大切に稽古に励む所存です。これからはスポーツ吹矢を通じて人とのご縁を大切に、心身ともに実りある一年にしたいと思っております。精進してまいります。

新任

佐藤 芳江 准師範

水戸葵支部（茨城県）



**新春の吹き初めて3人の2級合格者送りだす
門下生のさらなる上達を全力でサポート**

昨年末、転倒による腰の負傷で、現在はコルセットを装着し、安静を心掛けながら指導にあたっております。幸い新春の吹き初めて3人の2級合格者を送り出すことができ、大きな励みとなりました。本年は自身の快復に努めつつ、門下生のさらなる上達を全力でサポートしていく決意です。

古川 秀秋 准師範

相模原北の丘・相模原緑津久井・相模原緑相原・さま健康吹矢クラブ・相模原緑三井寺小屋支部長（神奈川県）



**スポーツ吹矢の「ワクワク感」一人でも多くの人に伝えたい
基本動作磨き直し更なる技術向上を目指す**

昨年度は青柳清杯での準優勝という栄誉を賜り、改めて吹矢の醍醐味を実感しました。「楽しくなければ吹矢じゃない」の理念を胸に、今年も一人でも多くの方にこのワクワク感を伝え、競技人口の拡大に尽力します。同時に私自身も基本動作を磨き直し、更なる技術向上を目指して、精進を重ねる一年にいたします。

柏尾 由明 准師範

流山市フジタ力支部（千葉県）



**競技者として各種大会での上位入賞をめざす
若い世代が吹矢の魅力に触れる機会を創出する**

今年の抱負は、競技者として各種大会での上位入賞を目指すとともに、スポーツ吹矢をジュニア世代へ浸透させることです。その第一歩として、まずは体験会の開催を目標に掲げています。若い世代が吹矢の魅力に触れる機会を創出し、競技の発展に貢献できるよう、精一杯努力してまいります。

勢頭 詩子 准師範

戸田さくら草支部長（埼玉県）



**「楽しくなければ吹矢じゃない」糧に支部員倍増
吹矢の輪さらに広げ支部発展に尽力する**

この度は准師範を拝命し、身の引き締まる思いです。コロナ禍で練習が困難な時も、創始者の「楽しくなければ吹矢じゃない」という言葉を糧に歩んできました。2年前に5人で始めた支部も、現在は11人にまで成長しました。今後このスローガンを胸に、吹矢の輪をさらに広げ、支部の発展に尽力してまいります。

新任

鶴田 善明 准師範

水戸葵支部長（茨城県）



**全員で一段上へ、そして全員有段者を目標に
技術向上と「楽しい練習環境」の両立を追求**

昨年は病気で練習を休む会員が相次ぎ、私自身も眼病の悪化で活動を休止するなど、健康の大切さを痛感する一年でした。今年は心機一転、会員の技術向上と楽しく練習できる環境づくりに注力し、全員が二段階上の段級位取得、さらには全員有段者を目標に取り組みます。また、公認指導員の育成と新たな支部設立を目指します。

新任

三橋 美伸 准師範

奈良生駒支部長（奈良県）



**「人間万事塞翁が馬」結果に一喜一憂せず楽しむ
活気ある活動続け心身健やかに飛躍の一年駆け抜けたい**

午年の今年は「人間万事塞翁が馬」の精神で、結果に一喜一憂せず吹矢を楽しみます。一吹きごとに集中力を高め、迷いのない一矢を放ち、腹式呼吸で健康を維持することが目標。仲間との交流を大切にし、馬が軽やかに跳ねるような活気ある活動を続け、皆様と共に心身健やかに飛躍の一年を駆け抜けたいと思います。

小山 斌敏 准師範

いすみ菜の花支部長（千葉県）



**今年「初心」に振り返り競技の楽しさにアドバイスに努める
吹矢のある生活を日々楽しむ一年にしたい**

スポーツ吹矢を始めて8年、試行錯誤の末に目標の六段位を取得できました。2026年は今年「初心」に立ち振り返り、競技の楽しさを大切にしながら皆さまへのアドバイスに努めたいと思います。気心の知れた仲間との交流を糧に、吹矢のある生活を日々全力で楽しむ一年にしたいです。

黒川 秀夫 准師範

流山市フジタ力支部（千葉県）



**自身の確かな成長を実感できる一年にしたい
スポーツ吹矢の魅力や健康効果を広く伝えたい**

午年の年頭にあたり、これまでの技術に工夫を重ね、精神面の課題克服に挑むことで、自身の確かな成長を実感できる一年にしたいと考えています。真摯に競技を楽しみつつ、皆様が安心して取り組める環境づくりに注力し、スポーツ吹矢の魅力や健康効果を広く伝えていけるよう、精一杯努めてまいります。

加藤 久明 准師範

千葉若葉桐花支部長（千葉県）



**今年も年男馬の「しなやかさと持久力」で「矢」丁寧に吹く
仲間と共に「技術と心」両面で成長する一年にしたい**

今年も年男馬として、馬のように「しなやかさと持久力」を持ち、一矢一矢を丁寧に吹くことを目指します。また、基本に立ち返り、自らも学び続ける姿勢を忘れず、仲間と共に「技術と心」の両面で成長する一年にしたいと考えております。精一杯精進してまいります。

新任

佐藤 義明 准師範

水戸葵支部（茨城県）



**連携・健康・普及を軸に、さらなる高みを目指して
午年のパワーを追い風に、仲間とともに歩む8年目の挑戦**

スポーツ吹矢を始めて8年目を迎えました。今年も午年の勢いを力に、さらなる飛躍の一年にしたいと考えています。振興協会のご指導のもと、岐阜県内の他支部との連携を深める環境づくりに進め、健康維持のための筋力トレーニングも継続しながら、仲間とともに楽しくレベルアップし、普及活動にも努めてまいります。

新任

辻 道博 准師範

可児サクラ支部長（岐阜県）



段位・級位認定者

新たに以下の方々が「段位・級位試験」に合格されました（申請順／敬称略）

2025.10.24~2026.1.26 まで

段位認定者

【五段位】

宇内 充、近藤 幸敏

【四段位】

伊藤 文隆、武田 吉樹、吉澤 廣子、窪岡 保憲、片山 學、永尾 敬子

【三段位】

鈴木 正人、小澤 幸夫、伊深 法子、伊藤 薫、石毛 和一、大北 芳幸、牧野 吉盛、柴田 養、八反田 寿江、濱崎 正敏、岩佐 つね子、金子 友子、國重 和人、安井 美代子、田中 繁世、金元 千恵、古田 睦子、渡邊 カズ子、降幡 行雄、渡辺 桂子、千堂 宣男、村山 輝秋

【二段位】

倉澤 昭三、本石 貞一郎、岸 治、佐藤 正三、菊地 秀一、北川 剛永、芦野 真実、西澤 敏治、遠藤 政美、橋本 浩子、岩永 浩介、渡部 幸子、元廣 信恵、松葉 栄一、濱寄 和子、斎藤 照夫、富岡 美代子、大西 悦子、小堺 美代子、関内 妙子、砂原 俊晴、石原 眞砂子、大滝 康博

【初段位】

横尾 好一、財津 洋子、宮川 芳枝、高橋 淳子、大石 真智子、水本 瑜紀代、中島 正紘、老田 弘子、山之口 勲、茂木 行雄、世古 公郎、住谷 宏、藤井 由美子、藤井 知昭、和田 芳美、加藤 修三、塩崎 恒一、西元 朝枝、池田 俊郎、北川 志保、名取 久子、岡川 太十、下川 達也、杉山 耕司、加藤 公恵、関 文彦、勝 ひろ子、堀内 のり子、山辺 千栄子、田古島 福恵、中澤 郁実、大橋 悦子、浅見 明義、沢山 朱美、岩田 勝義、生田 邦雄、岡部 博、佐久間 成

級位認定者

【1級位】

中野 良一、小野瀬 一廣、今西 健一、飛田 てる子、斎藤 正和、安富 日登美、佐々木 千代子、中川 保博、甲斐 智那子、岩井 明美、村木 初美、永島 勇司、手塚 博、石井 二三男、馬場 敏雄、木崎 成美、津志田 光子、松本 和子、小谷部 牧子、佐藤 哲夫、松崎 年延、小笠原 徳次、木村 吉男、後藤 憲子、木下 裕美、加藤 俊雄、米山 展央、田中 悟、中島 美子、三浦 サヨ子、土倉 末子、中根 健植、端山 和也、溝端 寛、宇城 千恵美、内木 健次、宇城 恵一、橋本 馨、坂井 秀彰、岩本 むつ子、岩本 英治、谷川 喜美子、西村 久留美、中原 秀美、安倍 君子、中川 昌代、神谷 明、鶴見 すみ江、宮沢 正芳、奈良 秀男、久保田美知子、梶屋 敏宏、中峯 美保子、森田 良雄、野本 陽子、入江 昭

【2級位】

立花 容子、永岡 富紀子、早川 孝子、鈴木 正孝、吉田 巖、内沼 佳保里、藤原 秀一、小川 雅己、白畑 太展、高橋 喜秀、野崎 貴美子、浅井 進、佐藤 泉、矢萩 正義、梅津 一男、松下 佐英、小野沢 いく、鈴木 京子、苅谷 晴美、藤原 直士、田村 良男、太田 朱美、小西 凱子、植草 幸子、堤 テル枝、尾崎 真奈美、船越 てい子、船越 正光、駒崎 裕之、高城 千津子、尾崎 洋子、関戸 スミ江、矢野 ミツエ、斉藤 みどり、上原 正子、坂田 晶子、川上 保子、柿原 かず子、三森 真澄、濱田 令子、石井 英一、松村 律子、喜多まさ子、馬本 勝江、物部 チエ、井上 啓一、真藤 巳恵、大櫛 則俊、梅津 敬子、小林 絹彦、中島 和夫、角 邦子、石岡 幸子、川田 和夫、上保木 貴子、池田 ひとみ、関 かほる、増本 トシ子、江上 経子、細田 美智子、細田 盛一、池田 勘次、畑澤 千景、角田 玉枝、武藤 法子、小坂 早苗、小野 貴久子、野地 弘子、五十嵐 一夫、向坂 弥生、藤田 和子、生田 久美子、細川 武定、佐藤 博子、飯迫 博子

【3級位】

堀江 隆行

マスタース段位認定者

【マスタース六段位】

植松 通子、今井 孜朗

【マスタース五段位】

伊佐治 貞春

【マスタース四段位】

小林 政雄、福永 一徳、八反田 寿江、杉山 ナミ子、三澤 康二郎、渡邊 四志彦

【マスタース三段位】

加藤 勇、田村 昌子、藤木 久美子

【マスタース二段位】

高橋 しげ、上村 トシ子、西窪 明人

【マスタース初段位】

木塚 和雄、高橋 せつ子、山本 桂子、林 誠行、増田 正義

お詫びと訂正

会報誌・第 22 号において間違いがありました。

● 4～5 頁「全国一斉記録会」支部名の間違い

10 m の部

41 長野県 竹下 信悟 スポーツ吹矢ふじみ野支部 ➡ スポーツ吹矢ふじみ支部

マスターズの部

5 長野県 公文 漢子 スポーツ吹矢ふじみ野支部 ➡ スポーツ吹矢ふじみ支部

訂正してお詫びいたします。

一騎当千の総支部長

誰にでも楽しめる生涯スポーツとして地域に広める

午年を迎え、スポーツ吹矢の師範としてさらなる普及に努めたいと考えています。「人生の道場」と捉えているスポーツ吹矢は、独特の呼吸法により、私自身が重度の心筋梗塞から驚異的な早さで回復できた実体験を持つ、健康に最適な競技です。これまで5つの支部立ち上げに尽力してきましたが、今後とも年齢や性別を問わず、高齢者や病後の方にも優しいこの生涯スポーツを地域に広めていきたいです。毎日決まった本数の矢を吹き続け、心身を練磨しながら、地域の皆様と共に健やかな一年を歩んでいく決意です。

新任
有賀 西夫 師範

長野県上田地区5支部顧問



「基本動作学び直す」自分磨きに励む一年にする

一人ひとりの個性に寄り添ったアドバイス心掛ける

午年を迎え、今年はさらなる行動力の年にしたいと決意を新たにしています。目標は、九州以外の吹矢大会への出場です。年齢を考えれば最後の挑戦になるかもしれませんが、悔いのないよう全力で挑みたいと思います。また、生涯スポーツとしての吹矢を再確認し、私自身も基本動作を学び直すつもりです。一本の矢の重みやルーティンの大切さを追求し、会員一人ひとりの体調や個性に寄り添ったアドバイスができるよう、自分磨きに励む一年にします。

新任
合志 明公 師範

熊本合志支部長



指導の5支部の皆が「練習日待ち遠しい」と「吹矢を楽しむこと」をより多くの人に広めたい

今年より准師範の末席に加わり、戸惑いつつも身の引き締まる思いです。現在5つの支部で指導にあたっていますが、各支部に共通しているのは、会員の皆様が「練習日待ち遠しい」と感じてくださっていることです。この「吹矢を楽しむ事」をより多くの方に広めるため、知恵を絞って、一層精進して参ります。

新任
加藤 秋寛 准師範

可児ばら支部長（岐阜県）



「前進・行動・持続」の午年に四つの誓い立てる

持続可能な前進を続けることで実りある一年にしたい

「前進・行動・持続」を象徴する午年の本年、吹矢道を極めるべく四つの誓いを立てました。「①健康第一に軽やかに前進」「②チャンス逃さず大会に挑戦」「③仲間との縁を大切に」「④継続は力」。吹矢振興に努め、馬の如く粘り強く精進を重ねます。無理な競争ではなく、自己を整え持続可能な前進を続けることで、実りある一年にいたします。

新任
田村 功 准師範

取手スカイ・フクロウ支部長（茨城県）



生涯スポーツとしての楽しさを一人でも多くの人に伝えたい

「夢一途」夢に向かい一途に吹矢の道に励む一年にしたい

准師範に任命されましたが、未だ研鑽の身です。今年基本動作を徹底して見直し、さらなる技量向上を図って六段位合格を目指します。あわせて、生涯スポーツとしての楽しさを一人でも多くの方に伝えられるよう、普及活動にも邁進する所存です。夢に向かい一途に吹矢の道に励む一年にいたします。

新任
西川 泉 准師範

流山市フジタ力支部（千葉県）



「もっと楽しく・元気に・自由に」上達をサポートする

指導員養成と普及促進にも注力し支部をさらに盛り上げる

昨年は市の講座講師や他県交流に奔走し、会員増に繋がる充実した一年でした。今年は初心に返り「もっと楽しく・元気に・自由に」を合言葉に、基本動作の見直しによる健康保持を実践し、上達をサポートしてまいります。併せて指導員の養成と普及促進にも注力し、支部をさらに盛り上げていきます。

新任
佐藤 義徳 准師範

古河せせらぎ支部長（茨城県）



本年も技術向上、健康維持兼ねて皆様との交流深めたい

楽しみながら競技の普及・発展に貢献する

趣味のスポーツ吹矢も13年目を迎えました。これまでの歩みと、活動を通じた多くの出会いに深く感謝しております。本年も技術向上に励むとともに、健康維持を兼ねて皆様との交流を一層深めていきたいと考えています。楽しみながら競技の普及・発展にも貢献して参ります。今後ともよろしくお願いいたします。

新任
小室 陽一 准師範

流山市フジタ力支部（千葉県）



スポーツ吹矢



スポーツ吹矢

サムライ列伝 & なでしこ列伝 新春特別企画

無敵、佐藤義明五段・芳江五段ご夫妻の心技練磨に迫る!



芳江五段…呼

義明五段…やはり「息」です。吹く息を均一にするために、吸う動作をとて大切にしています。

■大きく息を吸い丹田に落とし込む
(義明五段)

■呼吸が整うと的との距離も安定する
(芳江五段)

「呼吸」ですね。

佐藤義明五段…的の中心を射るために、「黒点凝視法」を基本にしています。黒点をただ見るのではなく、黒点を頂点とした仮想の三角形を頭の中で描き、その中に自分の軸を収める感覚で練習しています。視線と姿勢、そして呼吸が一体になるよう意識しています。

佐藤義明五段…的の中心を射るために、「黒点凝視法」を基本にしています。黒点をただ見るのではなく、黒点を頂点とした仮想の三角形を頭の中で描き、その中に自分の軸を収める感覚で練習しています。視線と姿勢、そして呼吸が一体になるよう意識しています。

「呼吸」ですね。

佐藤義明五段…的の中心を射るために、「黒点凝視法」を基本にしています。黒点をただ見るのではなく、黒点を頂点とした仮想の三角形を頭の中で描き、その中に自分の軸を収める感覚で練習しています。視線と姿勢、そして呼吸が一体になるよう意識しています。

「呼吸」ですね。

佐藤義明五段…的の中心を射るために、「黒点凝視法」を基本にしています。黒点をただ見るのではなく、黒点を頂点とした仮想の三角形を頭の中で描き、その中に自分の軸を収める感覚で練習しています。視線と姿勢、そして呼吸が一体になるよう意識しています。

「呼吸」ですね。

佐藤義明五段…的の中心を射るために、「黒点凝視法」を基本にしています。黒点をただ見るのではなく、黒点を頂点とした仮想の三角形を頭の中で描き、その中に自分の軸を収める感覚で練習しています。視線と姿勢、そして呼吸が一体になるよう意識しています。

「呼吸」ですね。

佐藤義明五段…的の中心を射るために、「黒点凝視法」を基本にしています。黒点をただ見るのではなく、黒点を頂点とした仮想の三角形を頭の中で描き、その中に自分の軸を収める感覚で練習しています。視線と姿勢、そして呼吸が一体になるよう意識しています。

「呼吸」ですね。

佐藤義明五段…的の中心を射るために、「黒点凝視法」を基本にしています。黒点をただ見るのではなく、黒点を頂点とした仮想の三角形を頭の中で描き、その中に自分の軸を収める感覚で練習しています。視線と姿勢、そして呼吸が一体になるよう意識しています。

「呼吸」ですね。

2025年の振興協会主催大会は茨城県の「水戸葵支部」(鶴田善明支部長)旋風が吹き荒れました。その「水戸葵支部」で昨年5月の「第5回日刊スポーツ杯スポーツ吹矢大会in流山」、9月の「第3回青柳清杯スポーツ吹矢大会」の10m男・女をご夫婦で連覇するなど大活躍したのが佐藤義明五段・芳江五段ご夫妻。2026年の新春に当たって「無敵、佐藤義明五段・芳江五段ご夫妻の心技練磨に迫る!」と題し、ご夫妻の無敵の核心に迫りました。(振興協会広報担当 菅村昭文)

「昨年、連覇、本当におめでとうござい。まず、日頃の練習で工夫されている点を教えてください。」

吸が整うと、気持ちも自然と落ち着いてきます。結果として、的との距離感も安定するように感じます。

吹矢におけるご自身の強みは?

■強みは迷わず「集中心力」(義明五段)

■「どうすれば確実に中心を射られるか」真剣に考える(芳江五段)

義明五段…迷わず

「集中心力」と答え

ます。吹矢を始

めた当初は「楽し

く吹ければいい」

と、思っていました

が、大会に出るよ

うになり、いかに

中心を射るかを真

剣に追求する過程

で、この集中心力

が磨かれました。

—— 始めた頃と

今とで、吹矢に対

する意識は変わ



芳江五段…私も始めた頃は、ただ楽しく吹ければいい、という気持ちでした。今は大会にも出場するようになり、「どうすれば確実に中心を射られるか」を真剣に考えるようになりました。



義明五段…迷わず「集中心力」と答えます。吹矢を始めた当初は「楽しく吹ければいい」と思っていました。が、大会に出るようになり、いかに中心を射るかを真剣に追求する過程で、この集中心力が磨かれました。

矢にも活きているのかもしれない。芳江五段…2020年に私が吹矢教室に入り、その後は二人で「吹矢三昧」の日々を過ごしてきました。2023年に「水戸葵支部」が結成され、現在に至ります。

私生活でも吹矢の話をされることはありますか?

■「あそこがうまくいかなかった」と振り返るのが日課(義明五段)

■使う矢の選別と手入れを念入りに行うのが「勝つためのルーティン」(芳江五段)

義明五段…練習の帰り道、車内はいつも反省会ですね(笑)。「あそこがうまくいかなかった」と具体例を挙げながら、二人で振り返るのが日課です。

芳江五段…大会前は二人で、使う矢の選別と手入れを念入りに行います。それが私たちの「勝つためのルーティン」になっています。

—— 思いに残っている大会は?

義明五段…『第1回スポーツ吹矢茨城大会』や『2024新春8点のスポーツ吹矢大会』です。『日刊杯』『青柳杯』も、お互いに参加した大会として印象に残っています。

吹矢を続けていて良かったと感じることは何ですか。

■生活にメリハリができてストレスもたまらない(義明五段)

■支部の仲間たちは兄弟のような大切な存在(芳江五段)

義明五段…毎日「今日、行くところがある」という生活のメリハリができたことです。おかげでストレスも溜まりにくくなりました。

佐藤義明准師範(五段位・公認指導員)の戦歴など

「第4回日刊スポーツ杯スポーツ吹矢大会inさいたま」10m男子の部優勝

「第2回青柳清杯スポーツ吹矢大会」10m男子の部優勝

「第1回千葉・茨城スポーツ吹矢大会in成田」10m男子の部優勝

「第5回日刊スポーツ杯スポーツ吹矢大会in流山」10m男子の部優勝

「第3回青柳清杯スポーツ吹矢大会」10m男子の部優勝

「第3回スポーツ吹矢茨城大会」10m男子の部優勝

全国「斉記録会セカンド・シーズン」冬の記録会「10m男子の部優勝

2026新春8点のスポーツ吹矢大会「優勝」

芳江五段…支部の仲間たちも、お互いの人格を尊重し合っている、まるで兄弟のような大切な存在です。

義明五段…「お互いの人格や個性を尊重し、理解し合っている。そんな関係が築けている、兄弟のように感じています」

最後に、今後の目標と全国の仲間へのメッセージを

義明五段…練習から常に高得点を維持し、主要な大会での連覇を狙い続けます。

芳江五段…吹矢は「フレイル予防」にも最適なスポーツです。これからもこの輪がさらに広がることを願っています。



「支部の仲間は兄弟のような存在」

鶴田善明支部長に聞く! 『水戸葵支部』の強さの秘密と音楽の絆

支部の全員が友でありライバル

—— 昨年9月の「第3回青柳清杯スポーツ吹矢大会」では10m男女・8m・6mの4部門で優勝を独占するなど「水戸葵支部」の強さが際立っています。支部長から見て「我が支部のここがすごい!」というところは?

鶴田善明支部長(五段・上級公認指導員)…とにかく、練習の時の「真剣さ」。全員が非常に集中して、一矢一矢を大切に吹いています。特筆すべきは、自分の番でない時の姿勢です。他のメンバーの吹き方をじっくり観察して良い点を取り込んで、気が付いたところをアドバイスし合ったりしています。全員が「友」であり「ライバル」という真面目な姿勢は、どこにも負けないと胸を張れます。

—— 佐藤ご夫妻の活躍は、支部にどのような影響を与えていますか?

鶴田支部長…お二人がいることで、支部にとっても「家庭的な雰囲気」が生まれています。ご夫婦で練習に参加される楽しさが伝わってきて、お二人を囲んで家の話で盛り上がることも多いんですよ。一人で参加しているメンバーにとっても、あの温かさは良い相乗効果になっていますね。

—— 支部長と佐藤さん、そして折笠さんは「音楽」でも繋がっていると伺いました。

鶴田支部長…そうですね。私は社会人2年目から52年間、ビッグバンドでトランペットを吹いています。サクソフの折笠信雄五段とは52年、佐藤義明五段とも7年ほど前からバンド仲間として付き合いがあります。今でも週に一度、吹矢の練習が終わった後に「夜のバンド練習に行こう」と声を掛け合って参加しているんですよ。

—— これからの水戸葵支部をどのような組織にしていきたいですか?

鶴田支部長…まだ2年目で運営に精一杯なのが現状ですが、まずは「健康一番」です。皆が健康で過ごせれば、自ずと吹矢も楽しくなります。これから時間をかけて、この支部らしい「教え」や「心得」が生まれてくるのを楽しみにしています。まずは仲間と共に、この輪を広げていきたいですね。

鶴田善明准師範(五段・上級公認指導員)の戦歴など

「第1回スポーツ吹矢茨城大会」10m男子の部優勝

「第1回青柳清杯スポーツ吹矢大会」10m男子の部優勝

2024新春8点のスポーツ吹矢大会「男子の部優勝

全国「斉記録会セカンド・シーズン」秋の記録会「10m男子の部優勝

全国「斉記録会セカンド・シーズン」春の記録会「10m男子の部優勝

全国「斉記録会セカンド・シーズン」秋の記録会「10m男子の部優勝

スポーツ吹矢サムライ列伝II会報13号

准師範任命II2026年1月1日

福岡県北九州市出身

佐藤義明准師範(五段位・公認指導員)の戦歴など

「第1回スポーツ吹矢茨城大会」10m男子の部優勝



いざ！大会で腕試し 2026 年も大会ラッシュ!!
皆様のご参加お待ちしております!!

第1回 スポーツ吹矢 四国大会

3/25

開催日時 2026年3月25日(水) 午前11:00～開催(受付10:30～)
開催場所 丸亀市民体育館 サブアリーナ 香川県丸亀市金倉町 924 番地 1
募集人数 80 名
参加資格 スポーツ吹矢愛好家(オープン大会) ★四国以外のご参加者も歓迎いたします。
※会報、HP 等に名前、写真掲載不可の方は、参加をお見送り下さい。
競技種目 10 m の部、8 m の部、6 m の部、マスタース 8 m (75 歳以上希望者)
前後半各 3 ラウンド× 2 の計 6 ラウンドの合計点で順位を競う。
参加費用 2,000 円 / 1 人 (徴収方法は、事前振込)
申込期間 2026年2月16日(月) 13:00～2026年3月9日(月) 17:00まで



第6回 日刊スポーツ杯 スポーツ吹矢大会

4/3

開催日時 2026年4月3日(金) 午前10:30～開催(受付9:45～)
開催場所 東京都中央区立総合スポーツセンター メインアリーナ 東京都中央区日本橋浜町 2 丁目 59-1
募集人数 250 名
参加資格 スポーツ吹矢愛好家(オープン大会)
※会報、HP 等に名前、写真掲載不可の方は、ご参加をお見送り下さい。
競技種目 男子 10 m、女子 10 m、男女混合 8 m、男女混合 6 m、マスタース 8 m (75 歳以上希望者)
◎午前に第 1、2 ラウンドを行い、午後に第 3 ～ 6 ラウンドを 2R ずつ行う。計 6 ラウンドの合計点で順位を競う。
参加費用 3,000 円 / 1 人 (徴収方法は、事前振込)
申込期間 2026年2月20日(金) 9:00～2026年3月18日(水) 17:00まで



第1回 スポーツ吹矢 北陸大会

4/16

開催日時 2026年4月16日(木) 午前11:00～開催(受付10:30～)
開催場所 富山市 旧総曲輪小学校体育館 富山県富山市総曲輪 4 丁目 4-7
募集人数 80 名
参加資格 スポーツ吹矢愛好家(オープン大会) ★北陸以外の方の参加也大歓迎
※会報、HP 等に名前、写真掲載不可の方は、参加をお見送り下さい。
競技種目 10 m の部、8 m の部、6 m の部、マスタース 8 m (75 歳以上希望者)
◎3 ラウンド× 2 回の計 6 ラウンドの合計点で順位を競う。
参加費用 2,000 円 / 1 人 (徴収方法は、事前振込)
申込期間 2026年2月25日(水) 9:00～2026年3月25日(水) 17:00まで



第3回 スポーツ吹矢 神奈川県大会

5/25

開催日時 2026年5月25日(月) 午前10:00～開催(受付9:30～)
開催場所 横浜市平沼記念体育館 神奈川県横浜市神奈川区三ツ沢西町 3-1
募集人数 100 名
参加資格 スポーツ吹矢愛好家(オープン大会) 神奈川県以外の方も歓迎致します。
※会報、HP 等に名前、写真掲載不可の方は、参加をお見送り下さい。
競技種目 男子 10 m、女子 10 m、男女混合 8 m、男女混合 6 m、マスタース 8 m (75 歳以上希望者)
◎2 ラウンドごと× 3 回の計 6 ラウンドで順位を競う。
参加費用 2,000 円 / 1 人 (徴収方法は、事前振込)
申込期間 2026年4月10日(金) 9:00～2026年5月8日(金) 17:00まで



第1回 スポーツ吹矢 千葉県大会

6/1

開催日時 2026年6月1日(月) 午前10:30～開催(受付9:45～)
開催場所 キッコーマンアリーナ (流山市総合体育館) 千葉県流山市野々下 1-40-1
募集人数 150 名
参加資格 千葉県内のスポーツ吹矢愛好家(オープン大会)
※会報、HP 等に名前、写真掲載不可の方は、参加をお見送り下さい。
競技種目 男子 10 m、女子 10 m、男女混合 8 m、男女混合 6 m、マスタース 8 m (75 歳以上希望者)
◎午前に第 1、2 ラウンドを行い、午後に第 3 ～ 6 ラウンドを 2R ずつ行う。計 6 ラウンドの合計点で順位を競う。
参加費用 2,000 円 / 1 人 (徴収方法は、事前振込)
申込期間 2026年4月17日(金) 9:00～2026年5月14日(木) 17:00まで



振興協会 HP 大会告知より専用申込書を出し、必要事項をご記入の上、FAX、E-mail、郵送にてお申し込みください。

大会参加に関する
お問い合わせ
お申し込みは →

「一般社団法人 スポーツ吹矢振興協会」事務局 TEL03-6206-2673
◆〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町 7-9 京桜興産ビル 2 F ◆ FAX 03-6206-2674 ◆ E-mail info@sports-fukiya.jp
★本大会の詳しい内容は HP でご確認ください。★大会申込書を郵送希望の方は事務局までご連絡下さい。

2025 11/9 「第2回 スポーツ吹矢島根大会（出雲神在月杯）」開催
兵庫・広島 の2支部も参加、42人が神話の舞台で激突・交流

「島根県スポーツ吹矢振興協会」（会長・高根俊夫准師範）主催、「一般社団法人スポーツ吹矢振興協会」後援による「第2回 スポーツ吹矢 島根大会（出雲神在月杯）」が11月9日（日）、島根県出雲市の鳶巣コミュニティセンターで開催されました。

当日は、出雲市の「スポーツ吹矢鳶巣支部」（中島薫支部長）、「かわとひめくらぶ支部」（花原良治支部長）、「斐川エアポート支部」（福島勲支部長）、雲南市の「島根うんなん支部」（土江清夫支部長）の島根県内4支部のほか兵庫県の「すもとアイアイ支部」（浜辺望支部長）、広島県の「チーム・パル五日市支部」（菊田勝支部長）の県外2支部、さらに吹矢同好会からの参加もあり、総勢42人の吹矢アスリートが心技練磨の成果をぶつけ合い、交流も楽しみました。



全選手の得点を逐次ホワイトボードで案内

競技は、男女混成の「10m」と「8m」、男子「6m」、女子「6m」の4種目、各6Rの得点を競い合いました。

選手の得点は会場に用意されたホワイトボードの採点表に逐一書き込まれ、ラウンドを重ねるごとに、参加者は互いの健闘を称え合いながら、一吹き一吹きに思いを込めて的を狙いました。

本競技終了後にはビンゴ的を使用した団体戦も。

高根俊夫准師範「島根からスポーツ吹矢の魅力発信する」
「後進育成の場として大会継続する」

各クラスの優勝・準優勝・第3位のほか、「飛び賞」や「パーフェクト賞」も設けられ、参加者全員に賞品が贈られました。

高根会長は「交流の輪を広げるとともに、後進育成の場としても大会を継続していきたい。第3回大会の開催を目指し、島根からスポーツ吹矢の魅力を発信していきます」と力強く宣言しました。

振興協会からは田口貴事務局長が参加しました。

2025 11/21 栃木県「第3回 矢板市スポーツ吹矢オープン大会」
5都県から11支部集結、62人が大熱戦展開



「第3回 矢板市スポーツ吹矢オープン大会」（「一般社団法人スポーツ吹矢振興協会」、「矢板市スポーツ吹矢オープン大会実行委員会」＝大会実行委員長「矢板ながみね支部」湯澤正樹支部長＝共催）が11月21日（金）、矢板市文化スポーツ複合施設で開催されました。

当日は、栃木県内4支部のほか茨城県4支部、埼玉・東京・千葉から各1支部が参加、さらに吹矢愛好家を含め、当初の予定を上回る計62人の吹矢アスリートが参戦する盛況ぶりとなりました。

競技は男女混合の「10m」、「8m」、「6m」、「マスターズ75」（8m）の4種目、各6ラウンドの合計得点で順位を競いました

勝負は大接戦、1本矢による決定戦も

今大会は大接戦となり「10m」は3位と4位、「6m」も2～4位が同点。いずれも順位は1本矢による決定戦に持ち込まれました。

7点に入れば「大福」、歓声と笑顔の「ゲーム大会」

本競技終了後には恒例の「ゲーム大会」を実施。7点に入れば「大福」がもらえる1本勝負でしたが、なかなか7点に入らず、最終的には全員に「大福」を配布し、会場は笑顔に包まれました。また、入賞を逃した約50人には「お楽しみ賞」を用意。矢10本入り4セットや筒袋などの賞品を揃え、じゃんけんで選ぶなど、最後まで楽しめる大会運営が参加者から好評でした。

「入賞逃しても楽しめる大会」と湯澤正樹実行委員長

湯澤大会実行委員長は「来年も同時期に開催予定です。参加費1,000円は据え置き、入賞を逃しても楽しめる工夫を続けたい」と語り、早くも第4回大会開催へ意欲満々でした。

振興協会から田口貴事務局長が参加しました。

「米寿」のアスリート・佐藤守三段と喜佐見キノイさんに筒袋贈呈

大会では、最年長参加者の佐藤守三段「矢板ながみね支部」と喜佐見キノイさん「矢板シニアクラブ末広会支部」のお二人に筒袋が贈呈されました。

共に88歳。年齢を感じさせないお元気な姿、矢さばきに会場から大きな拍手が送られました。



〈参加支部〉【栃木県】矢板ながみね支部（湯澤正樹支部長）、宇都宮西原支部（市村吉二支部長）、矢板中る支部（大武光子支部長）、矢板シニアクラブ末広会支部（山口忠男支部長）【茨城県】笠間中央支部（山口富男支部長）、結城えがわ支部（石田宣久支部長）、古河せせらぎ支部（佐藤義徳支部長）、水戸葵支部（鶴田善明支部長）【埼玉県】フリーダム川口支部（下野和朗支部長）【東京都】ペアー新百合ヶ丘支部（手嶋英成支部長）【千葉県】流山市フジタカ支部（西川敏幸支部長）

2025 10/24 千葉県「流山市フジタカ支部」小学校で官民連携の体験会
16人の児童が体験「オリンピックの種目になればいいな」

「流山市フジタカ支部」（支部長は西川敏幸師範）は10月24日、流山市立市野谷小学校体育館でスポーツ吹矢の体験会を実施しました。

この体験会は「流山市教育委員会」と総合型地域スポーツクラブ「NPO 法人 おおたかスポーツコミュニティ流山」の要請によるもの。

同小学校では子どもたちの興味と関心に合わせ、科学クラブ・花育クラブ・生き物クラブなど様々なクラブ活動が行われており、今回の体験会はレクスポーツクラブの活動として行われました。



「若年層にも広げ国民的スポーツに育てたい」と西川師範

当日は16人の生徒が体験、教頭先生と2人の教師も参加しました。生徒たちは、ほとんどがスポーツ吹矢初体験。それでも全員がスポーツ吹矢の魅力をすぐ理解して真剣に的を狙いました。10mで高得点をあげた生徒は「オリンピックの種目になればいいな!」と期待していました。

西川師範は「これからもスポーツ吹矢を若年層へ確実に広げ、国民的スポーツへと育てていきたいと強く考えています」と官民連携により実現した体験会に強い手応えを感じたようです。

2025 11/12 千葉県「第9回 流山市大会」
強豪6支部と2つの同好会から80人が真剣勝負



「流山市吹矢協会」（会長は小室陽一准師範）は11月12日、「2025年 第9回 流山市大会」を千葉県流山市のキックマンアリーナで開催しました。

当日は、「流山市フジタカ支部」（西川敏幸支部長）、「なづかり幸吹支部」（妹尾護支部長）、「船橋サザンカ支部」（永尾博次支部長）、「野田支部」（肘井博志支部長）、「千葉若葉桐花支部」（加藤久明支部長）、「千葉若葉梨花支部」（斎藤淑子支部長）の6支部と2つの吹矢同好会から総勢80人が集結。会場は朝から活気に包まれました。

競技は、個人戦「10m男子」「10m女子」「8m男女」の3種目で実施され、各4ラウンドの合計得点によって順位を決定。集中力と安定感が求められる真剣勝負が繰り上げられました。

支部対抗の団体戦も

参加支部ごとに編成された団体戦は5人が各1本ずつ吹いて6ラウンドで行う方式。個々の力に加え、チームとしての一体感が試され、レーンごとに声援と拍手が飛び交いました。

「楽しくなければ吹矢じゃない」ワイン10本・賞品多数の大抽選会も

個人戦、団体戦に続いて行われた「大抽選会」は、会場が一気に盛り上がり最高潮に達しました。

「楽しくなければ吹矢じゃない」という考えに賛同する「なづかり幸吹支部」の妹尾護支部長からは特別賞としてワイン10本が提供され、会場からはどよめきと歓声が上がりました。振興協会からも用具など多くの賞品が提供され、会場は終始和やかな雰囲気になりました。

西川師範「支部や所属の枠を超え吹矢の輪広げたい」

西川師範は「県内から多くの方にご参加いただき、交流も深める大会になりました。今後も支部や所属の枠を超えたつながりを大切にしながら、吹矢の輪を広げていきたい」とリーダーの決意を語っています。

2025 11/29 板橋区で3支部が「スポーツ吹矢8点的ペアマッチ大会」
意外な組み合わせにワクワク、誰もが楽しめる大会に

東京都の「板橋区中央支部」（鈴木義敬支部長）、「板橋区撫子支部」（鈴木佐多美支部長）、「スポーツ吹矢 巣鴨朝日会支部」（篠原昭敏支部長）の3支部合同による「スポーツ吹矢8点的ペアマッチ大会」が11月29日、板橋区立下赤塚前集会所で開催されました。

6月7日に開催した「スポーツ吹矢8点的大会（個人戦）」に続き2回目となります。



鈴木紘一マスターズ六段と木内眞弓三段のペアが263点で優勝

ペアを組む相手と吹き順を当日のくじ引きで決め、7m・4ラウンドのペア合計得点で順位を決定。くじ引きならではの意外な組み合わせにワクワク感があり、誰もが楽しめる試合になりました。

試合は、鈴木紘一マスターズ六段「スポーツ吹矢 巣鴨朝日会支部」と木内眞弓三段「板橋区撫子支部」のペア＝写真＝が263点で優勝。「スポーツ吹矢 巣鴨朝日会支部」の篠原支部長が138点を出し最高得点賞に。



鈴木義敬支部長（六段）は「6月の個人戦と今回のペアマッチ戦を、毎年楽しみにしていただける大会に育てていきたいと思います。今回は時間の都合で4ラウンドのみでしたが、今後は6ラウンドに拡大できるよう工夫していきます」と語り、より充実した大会開催へ意気込みを示しています。

振興協会からは堀井達矢普及部長が参加しました。

2025
12/5・12

山形県「第 8 回 しらたか大会」開催
20 人が各種目の優勝記念トロフィーをかけ大熱戦！

山形県の「チーム平野支部」と「チームしらたかプラス支部」（両支部とも金田正支部長）による「第 8 回 しらたか大会」が 12 月 5 日と 12 月 12 日の 2 日間、白鷹町蚕桑コミュニティーセンターで開催されました。



当日は両支部から総勢 20 人が参加しました。競技は 10 m・9 m・8 m・6 m（いずれも男女混成）の 4 種目、各 4 ラウンドで行われました。得点は 4 R の合計点数に「7・5・3・1」を揃えると 20 点、「ピンゴ」は 1 ライン 10 点、2 ライン 30 点の得点をそれぞれ加算し、その最終合計得点で順位を決めました。なお「チームしらたかプラス支部」独自のルールとして、三段・四段は 9 m で競技を行い、それぞれが日頃の練習の成果を発揮しました。

各クラスの優勝者には記念のトロフィーが贈られました。↗

ゝその後の納会では、競技の緊張から解放された参加者同士が語らい、笑顔あふれる交流の時間となりました。

「凄い盛り上がり、嬉しい限り」と金田支部長

金田支部長は「前年からは考えられないほどの盛り上がりでした。嬉しいかぎりです」と今後の普及に大きな手応えを感じた様子でした。



写真左より●10m優勝 紺野徹六段（チームしらたかプラス支部）
●9 m優勝 山口政人さん（チームしらたかプラス支部）
●8 m優勝 菅野純子二段（チームしらたかプラス支部）
●6 m優勝 鈴木恵美子二級（チーム平野支部）

「一般社団法人スポーツ吹矢振興協会」へ
全国で地域支部続々誕生中 !!



一般社団法人スポーツ吹矢振興協会

埼玉 南越谷支部
下司 義雄支部長（三段位・公認指導員）

立場や目的の異なる多様な仲間が市内 4 か所で練習
他流試合・見学・ひやかし大歓迎、自由参加の幅広げたい

我が支部は、吹矢仲間の中でも大会参加予定者を中心に声をかけたことをきっかけに結成されました。

現在は、他団体の会員や無所属の方、大会に出場する方・しない方、複数の練習場所に参加している方など、立場や目的の異なる多様な仲間が集まっています。市内 4 か所で練習を行い、広い会場で自由練習ができる際には、井戸端会議を交えながら和やかに交流する時間も大切にしています。

今後は、自由参加の幅をさらに広げていきたいと考えており、他流試合や見学の他、ひやかし参加也大歓迎です。

ご興味のある方は、下司（geshi318@gmail.com）までお気軽にご連絡ください。

一般社団法人スポーツ吹矢振興協会

千葉 スポーツ吹矢西部 西船支部 朝岡 正昭支部長（三段位）
スポーツ吹矢西部 本中山支部 高橋 克仁支部長（二段位）
スポーツ吹矢西部 市川支部 富岡 妙子支部長（初段位）

3 支部合同の練習で楽しみながら技術向上図る
見学会開催などで吹矢の楽しさを伝え、仲間の輪広げる

「スポーツ吹矢西部西船支部」（朝岡正昭支部長）、「スポーツ吹矢西部本中山支部」（高橋克仁支部長）、「スポーツ吹矢西部市川支部」（富岡妙子支部長）の 3 支部は合同で毎週火曜日の午後 3 時から 6 時まで船橋市西部公民館で活動しています。

個人練習を中心としながら、練習の前後には体操を行い、部員の健康維持にも配慮しています。隔週で「7・5・3」を狙うゲームやピンゴ的を使った練習を取り入れ、楽しみながらも真剣に技術向上に取り組んでいます。練習の合間には会話や笑い声があふれ、和気あいあいとした明るい雰囲気です。

今後も見学会などを通じてスポーツ吹矢の楽しさを伝え、仲間の輪を広げていきます。

一般社団法人スポーツ吹矢振興協会

福島 いわきスカイブルー支部
四家 和也 支部長（二段位）

青空のように爽やかで心が晴々とする支部
スポーツ吹矢楽しみ健康寿命延ばしたい

これまで活動していた「なこそ吹風支部」の藤井宏英支部長の勧めにより新たな気持ちで支部を設立。現在は 10 人の仲間とともに活動中です。「青空のように爽やかで心が晴れ晴れするイメージ」から支部名に「スカイブルー」を採用。スポーツ吹矢は腹式呼吸を基にした基本動作が大切な競技です。得点にとらわれすぎず、基本を疎かにしないよう心掛けて練習しています。競技中は緊張感がありますが、休憩時には笑顔が絶えません。年 3 回、さまざまな紙を使った支部内大会を開催。身体が動く限り続けたいという仲間も多く心強いです。今後も吹矢を通じ、皆の健康寿命を延ばしていきたいです。



一般社団法人スポーツ吹矢振興協会

埼玉 越谷赤山支部
宮田 達美 支部長（三段位）

18 年の伝統誇る 20 人の大型支部
「楽しくなければ吹矢じゃない」和やかで笑顔あふれる活動

当支部は約 18 年前、吹矢好き 5 人（ほとんどが女性）で隔週練習を行う同好会としてスタート。活動は次第に毎週開催となり、メンバーも増え、最盛期には 24 人を数えるまでになりました。練習は越谷市赤山交流館を拠点に、一時は独自の認定試験を実施するなど技術向上にも取り組んできました。

現在は母体となる CM クラブの会員 20 人（男性 6 人）のうち 12 人が振興協会に所属。コロナ禍で参加者が減少した際も声かけを続け、現在は常時 15 人ほどが参加しています。練習は自由練習に加え、くじ引きでチームを分けたゲーム形式を取り入れ、「楽しくなければ吹矢じゃない」をモットーに、和やかで笑顔あふれる活動を続けています。

一般社団法人スポーツ吹矢振興協会

山梨 石橋シニアクラブ支部
曾根 修一 支部長

会員の交流と肺活量の向上を目的とする 18 人の支部
和気あいあい楽しみながら継続的に活動

当支部は、会員同士の交流を深めるとともに、肺活量の向上を目的として設立しました。現在は 18 人がメンバーとして登録しており、毎月 1 回、18 日に 2 時間の練習を行っています。

練習では講師が一人ひとりに対してその都度丁寧な指導を行い、基礎の確認と技術向上に努めています。会員の交流も大切にしているため、練習中は和気あいあいとした雰囲気包まれ、楽しみながら継続的に活動できることが支部の大きな魅力です。今後も互いに励まし合いながら練習を重ね、技量の向上と健康づくりを目指していきます。



一般社団法人スポーツ吹矢振興協会

茨城 取手スカイ・フクロウ支部
田村 功 支部長（准師範・六段位・上級公認指導員）

「明るく・楽しく・可能性は無限大」がモットー
年 2 回の取手市 3 支部の合同親睦大会開催が目標

吹矢講座に見学に来られた方が興味を示され少人数ではじめてたところ、活動を休止中だった仲間との合流を経て支部設立となりました。週 1 回楽しく和気あいあいと練習をしています。

支部名の「スカイ」は「明るく・楽しく・可能性は無限大」という私たちのモットーを表し、「フクロウ」は鋭い視力で的を見据える姿に重ね、互いを支え高め合う精神を象徴しています。

取手市は 3 支部体制となり、目標は年 2 回の合同親睦大会の開催です。地域全体で士気を高め、フレイル予防を合言葉に楽しく続けられる支部づくりと会員増を目指します。



一般社団法人スポーツ吹矢振興協会

千葉 キックーマン紫交会スポーツ吹矢支部
岩口 嶺市 支部長（四段位）

基本動作と呼吸法大切に継続的な健康作り
月末の記録会で集中力と技術向上に努める

2014 年 12 月、吹矢同好会として発足、健康作りと仲間との交流の場として 11 年間活動を続けてきました。2025 年 9 月、活動を将来へ継続するため役割分担による運営を決意し、会員 15 人でスポーツ吹矢振興協会へ入会、支部設立を進めました。

練習会は毎週水曜 13 時 30 分から 2 時間、労働会館大講堂で実施。月末には記録会を行い、集中力と技術向上に努めています。基本動作と呼吸法を大切に、和やかな雰囲気の中で継続的な健康づくりに取り組んでいます。練習後の談笑や季節行事も大切に、吹矢を通じて健康長寿と仲間の輪を広げています。



一般社団法人スポーツ吹矢振興協会

熊本 美里町スポーツ吹き矢愛好会支部
堀口 章 支部長（1 級位）

公民館の生涯学習講座から生まれた笑い声の絶えない支部
会員大会、交流大会、町のスポーツ協会にも加入

美里町中央公民館で実施された生涯学習講座としてのスポーツ吹矢が 2 年間行われ、講座終了時に「このままやめてしまうのはもったいない」という参加者の声を受けて愛好会を発足しました。その後、町のスポーツ協会に加入し、現在は原則として毎週金曜日の午前中に練習を行っています。

年 3 回の会員大会を開催し、その様子は町の広報誌を通じて町内に紹介しています。また、御船町のグループとの交流大会にも年 2 回程度参加しています。練習や大会では笑い声の絶えない和気あいあいとした雰囲気の中で、スポーツ吹矢を楽しんでいます。





ダイセイコー40周年記念事業
「アド・トラック」が銀座を走行（2018年7月）
青柳清はスポーツ吹矢をダイセイコーが企業として支えることを考えたことも。

ダイセイコーが企業としてスポーツ吹矢を支える
読売巨人軍はプロ野球の歴史ある伝統の球団です。
親会社は全国紙の読売新聞社。
実は青柳清は自分が創始したスポーツ吹矢の振興のため巨人軍の親会社の読売新聞社。

昨年6月3日、日本のプロ野球の大スターだった読売巨人軍終身名誉監督の長嶋茂雄さんが89歳で亡くなりました。
言うまでもなく長嶋さんは読売巨人軍の4番打者・三塁手として大活躍した名選手です。後楽園球場の引退試合では「巨人軍は永久に不滅です」の後世に残る名セリフを残し、背番号3は永久欠番となりました。2013年には巨人軍の後輩の名選手でニューヨーク・ヤンキースでも活躍した松井秀喜さんとともに国民栄誉賞も受賞しています。

長嶋さんの訃報を受けて米国の有力紙「ニューヨークタイムズ」紙は「日本のMr.ベースボールが死去した。経済大国の地位を築きつづけた日本の復興の象徴だった」と報道しました。

また読売巨人軍と一緒にON時代を築いた王貞治さんは「長嶋さんは日本の野球を国民に根付かせ国民的スポーツに育てた」と功績を偲びました。

第19回 読売ジャイアンツとスポーツ吹矢



新聞のような役割を考えたことがありました。

東京・銀座「大成功物語」40周年を記念して創業者青柳清へ捧ぐ（青柳芳英著）の第4章「そしてスポーツ吹矢は誕生した！」の「ダイセイコー挙げての普及活動では、こう記されています。

「ダイセイコーの社員たちは銀座の会社から大会のスタッフとして参加して相次ぐ大会を懸命に支えました。実はそのとき創業者（青柳清）は『ダイセイコーが日本スポーツ吹矢協会を支えていなければならない』とまで考えていたのです。『プロ野球の読売ジャイアンツを読売新聞が支えているように、一つのスポーツを企業がバックアップして発展させてもいいのではないか』と思います。野球というものがまだ日本ではやっていない頃、正岡子規が日本に伝え、正式な野球チームができてからは企業がそのチームを支えてきた。吹矢もこのように育つていければと思っています」と

「スポーツ吹矢」の発展は何よりも全国の愛好者の汗によるものですがダイセイコーも物心両面で「スポーツ吹矢」を支えていました。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆

日本のプロ野球は長嶋茂雄さん・王貞治さんからスター選手が誕生したことにより人気が出て国民的スポーツまでに発展しました。

スポーツ吹矢には健康作り・仲間作りなどたくさん魅力がありますが振興協会はより一層競技の楽しさを知ってもらうための大会の開催にも力を入れています。

すでに振興協会主催の主要大会は「全国一斉記録会」「日刊スポーツ杯スポーツ吹矢大会」「スポーツ吹矢オープン大会」「青柳清杯スポーツ吹矢大会」「新春8点的スポーツ吹矢大会」の5大会を数えています。さらに振興協会は、広域大会、県大会なども共催して応援しています。

積極的な大会の開催により会員の皆様の技量向上は著しく各大会からはすでにたくさんスター候補選手が誕生しています。（以下、次号）

2026年 春季 上級公認指導員・公認指導員資格認定試験

【開催日時】

【開催場所】

【受験資格】

【試験内容】

【受験料】

【認定料】

【申込方法】

【申込締切】

【お問い合わせ】

2026年4月24日(金) 13:00～16:30 (受付開始 12:45～)

東京都中央区立総合スポーツセンター 地下1F 第2小体育室

東京都中央区日本橋浜町2丁目5-9-1 中央区立浜町公園内

●公認指導員：スポーツ吹矢歴2年以上かつ18歳以上で、三段位以上の者

●上級公認指導員：公認指導員歴1年以上、四段位以上の者

学科試験／座学／実技試験／基本動作講習

詳しくは振興協会 HP「指導員試験実施のお知らせ」の実施要項にてご確認ください。

10,000 円（申込確認後、払込票を郵送します）

10,000 円（認定料は試験合格時に発生します）

振興協会 HP「指導員試験実施のお知らせ」より専用申込書を出し、申込書に必要事項を記入の上、FAX もしくはメール、郵送にてお申込み下さい。

◆ FAX/03-6206-2674 ◆ E-mail/info@sports-fukuya.jp

◆ 〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町7-9 京桜興産ビル2F

★申込受付後、試験に必要な「指導員用スポーツ吹矢規則集」及び「スポーツ吹矢の魅力と手引き」、受験料払込票をお送りいたします。

FAX またはメールにて **2026年3月10日(火)～2026年4月10日(金) 17:00 まで** にお申し込みください。

一般社団法人スポーツ吹矢振興協会事務局 TEL03-6206-2673



受験者大募集

期間延長!! 今後2年間いただきます!!

2025～
2026年度

上級公認指導員・公認指導員

「資格維持費」2年間0円

年会費 撤廃します!!

新規入会者・現会員

入会費・年会費 0円

吹矢愛好者ならどなたの入会も大歓迎。他団体をお持ちの段位、級位、資格も同待遇で認定します。

入会特典

ビックサクセスの吹矢商品、
1度に限り20%引き。入門セットも
会員価格で購入できます

5人集まれば新規支部が作れます!

新規支部 全国大募集!!

なんと! 「的スタンド1台」& 「NEW 矢5ケース」を
新規支部ごとにプレゼント



お問い合わせ

TEL 03-6206-2673 (事務局)

★たくさんのお問い合わせ、お待ちしております!

今日も吹矢日和

編集後記

事務局長 田口 貴



◎立春は過ぎたとはいえ、まだまだ寒い日が続きます。

しかし、この寒さをもものともせず、全国各地の皆さんの活動は、すこぶる「熱い!」です。

◎今号の段位級位合格者は243名! しかもこの3ヶ月の間に2級に合格し1ヶ月後に1級合格。同じく1級合格後に初段も合格という方が何人もいらっしゃる。実際の認定申請は、それ以上なのです。

◎本部主催で行われた新春8点的大会、開催は年が明けて間もない1/14日。それでも、募集定員はあっという間に埋まってしまいました。即、私達に来年の新春大会の規模や開催方法の改良を決意させるほどの「熱さ」でした。

慌ただしい年末に開催された冬の「全国一斉記録会」にも1,368人もの参加者が。「熱さ」ばかりでなく「勢い」も「パワー」も感じざるを得ません。

◎来月3月からは、さらに春の活動が本格化してきます。

香川県丸亀市での初の「四国大会」を皮切りに、4月には大人気の「日刊杯」、そして富山市でも初の「北陸大会」を開催。「スポーツ吹矢」は着実に全国に大きな広がりをみせています。

我々事務局一同も皆様に負けず「熱く!」がんばってまいります!

私の日々の活動を紹介するホームページ内のブログ「今日も吹矢日和」も引き続き、ご愛顧のほどよろしくお願い致します。

